令 和 8 年 度

小山町の教育

小 山 町 教 育 委 員 会

町　章

一般公募により、昭和45年1月1日に制定しました。小山町のイニシャル「O」を基本にして、その頂点に町のシンボル富士山を配し、図案化したものです。
考案者は用沢の山﨑先一さんで、富士、箱根、丹沢の連峰に囲まれた緑のオアシスを簡潔に表現し、その中に、町民の力強い団結、希望、勇気を表しています。

小山町民憲章

わたくしたちは、富士のもと 水と緑にめぐまれていることに誇りをもち、金太郎のように、健康で、明るい、ゆたかな町づくりをすすめます。

1．　めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。

1．　きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。

1．　のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。

1．　働くことによろこびをもち、健康なまちをつくります。

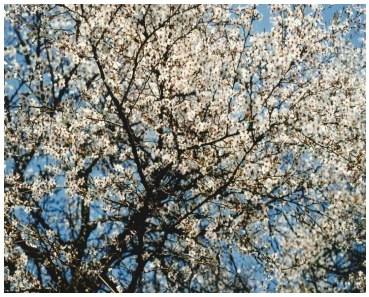
1．　たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。

町制施行70周年記念にあわせて一般町民に公募、
昭和57年12月5日制定。

町の木

ふじざくら

富士山麓に多く自生し、樹高は3～6ｍの小喬木で、小さな花をつける。花色は淡紅色で、ガクが赤味を帯びている。
まめ桜とも呼ばれ、品種は多く葉も小さくて若木でもよく花をつけるので、盆栽に適している。
4月～6月にかけ、葉が伸びる前、一斉に開花する。



町の花

なのはな

10月ごろ、高畝にした田圃に種をまき、富士山の温かく、きれいな伏流水で冬を越し、3～4月に黄色い十字花を咲かす。花はアブラナに似てやや小形である。
また、開花する前の柔らかい蕾は、茎から摘まれ、塩漬けにして地域の特産物、水掛菜（とう菜）とされ各地に出荷している。

町の鳥

うぐいす

「ホーホケキョ」の鳴き声はだれでも知っている。春を告げる代表的な鳥で梅の木にとまっている姿は昔から絵の題材に。スズメよりやや小さく、体色は地味でオスはメスより大きく、その差が極端。
「ケキョ」の部分が富士山を境に西に行けば長く、北に行けば短くなるといわれ、中部地方の鳴き声がもっともよいという。
特に須走に多く生息。

目　　次

Ⅰ 小山町の概要

1 位置と地勢 …… 1
2 沿革 …… 2
3 人口・世帯数の推移 …… 3

Ⅱ 教育行政

1 教育委員会〔歴代教育委員長・教育長・教育委員〕 …… 4
2 教育委員会機構図および事務分掌 …… 6
3 教育方針・教育施策 …… 7
4 教育費予算 …… 11

Ⅲ 学校教育等

1 学校教育関係等主要事業 …… 14
2 こども園の目標等 …… 16
3 小学校、中学校、こども園一覧表 …… 18
4 小山町立学校通学区一覧 …… 20
5 学校の位置と標高 …… 20
6 小学校、中学校、こども園施設の状況 …… 21
7 小学校在籍者数の推移 …… 22
8 中学校在籍者数の推移 …… 23
9 幼稚園在園者数の推移 …… 24
10 保育園・こども園在園者数の推移 …… 25
11 教職員の構成 …… 26
12 中学校卒業後の進路 …… 27
13 今後５か年の就学児童推定表 …… 27
14 就学奨励援助 …… 28
15 育英奨学資金 …… 29
16 学校保健 …… 30
17 日本スポーツ振興センター …… 32
18 学校給食 …… 33
19 放課後子ども教室一覧 …… 34

Ⅳ 社会教育

1 社会教育委員 …… 35
2 生涯学習 …… 35
3 芸術文化 …… 40
4 文化財保護 …… 41
5 小山町埋蔵文化財等地名表 …… 44
6 図書館 …… 45
7 社会体育 …… 47

Ⅴ 小山町教育機関等配置図 …… 51

Ⅰ 小山町の概要

1 位置と地勢

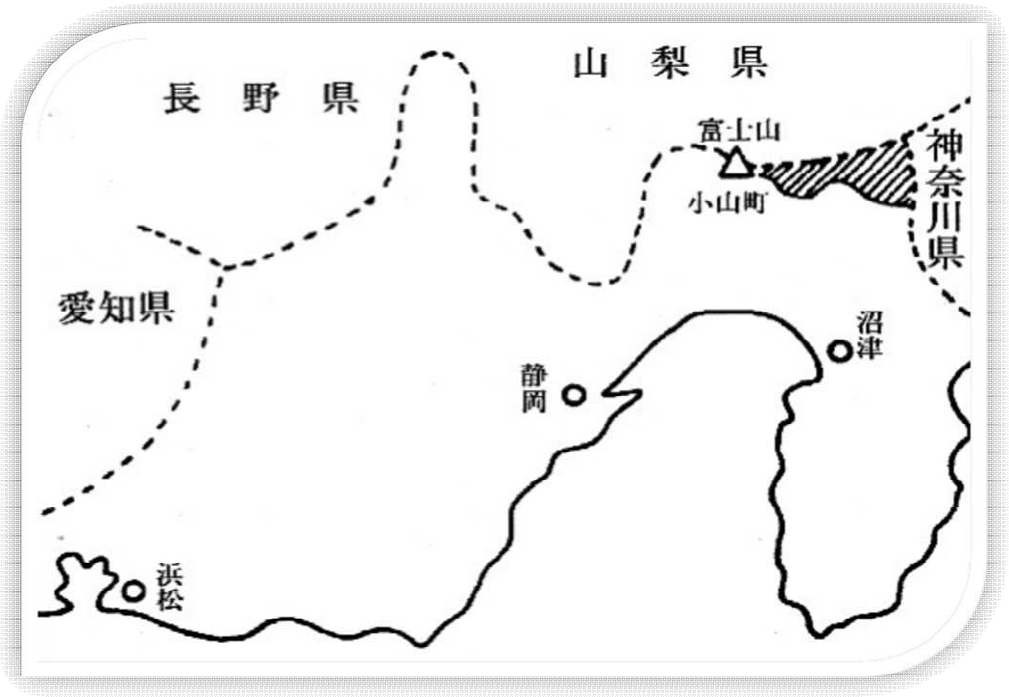
小山町は、静岡県の北東端(北緯35°21′東経138°59′)に位置し、東を神奈川県に、北西を山梨県に接している。西端は富士山頂に達し、富士山を頂点とした富士外輪状の三国山系(三国山1,320m)と、北東方は丹沢山地(不老山930m)に、東南方は箱根外輪山(金時山1,212m)と足柄山嶺(足柄峠759m)に囲まれ、東西に26.04km、南北に13.33kmと東西に長く延び、面積は135.74km2である。

市街地、農耕地は、海抜およそ300～800mの間にわたる緩傾斜地地帯にある。

河川は、源を富士・箱根山麓に発する鮎沢川が、馬伏川、須川、野沢川を合して東に流れ、酒匂川となって相模湾にそそいでいる。

気候は、気温の年較差が大きく湿度の高い地形で、冬は寒さが厳しいが、盛夏の朝夕の気温は低く、しのぎ易い。

当地を主要交通幹線道としての東名高速道路、国道246号、国道138号、東富士五湖道路、そして、県道8路線が走り、JR御殿場線と共に、産業、観光両面に重要な役割を果している。



面　積
135.74 km2

人　口
16,498 人

世帯数
7,369　世帯

(R8.4.1)

2 沿革

当地は、平安時代後半から戦国時代初期にかけて御殿場市の鮎沢辺りを中心とする伊勢神宮の荘園、大沼鮎沢御厨の一部であったと言われている。中世には竹之下の合戦が行われ、足柄峠や籠坂峠は、交通の要衝となっていたという記録も残っている。江戸時代には、町域の大部分が小田原藩領だった。しかし、宝永4年(1707)の富士噴火により全村幕府領となったものの、その後15か村は小田原藩領に復すこととなった。

明治になり、いく度かの変遷を経て、明治22年町村制の施行により、六合村(小山、生土、中島、柳島、湯船、藤曲の各旧村)、菅沼村(旧菅沼村)、足柄村(竹之下<所領>、新柴、桑木の各旧村)、北郷村(用沢、棚頭、大御神、中日向、上野、阿多野、吉久保、下古城、大胡田、上古城、下小林、一色、古沢の各旧村)、須走村(旧須走村)の5か村に統合された。

大正元年8月1日に六合村と菅沼村が合併して町制をしき、小山町となった。その後、町村合併促進法施行により、昭和30年4月1日には足柄村が、昭和31年8月1日には北郷村が、昭和31年9月30日には須走村がそれぞれ小山町に合併し、新小山町が誕生、現在の町域に拡大した。

平成24年8月1日には、町制施行100周年を迎えた。

小山町役場旧庁舎
昭和7年11月～昭和56年10月

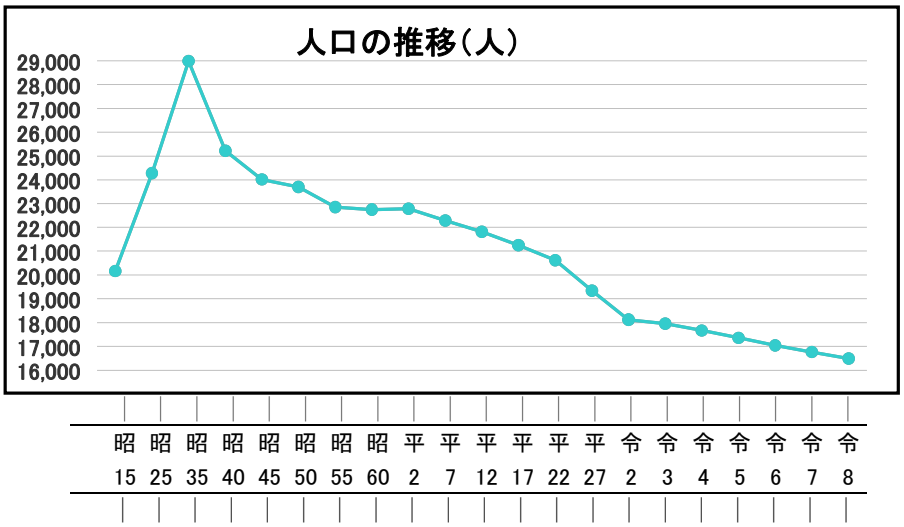
小山町役場新庁舎
昭和57年11月～現在

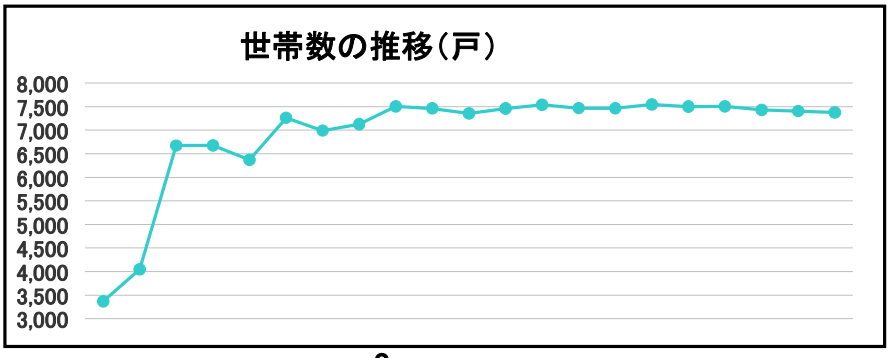
3 人口・世帯数の推移

（各年4月1日現在）

	地　区		小　山		足　柄		北　郷		須　走		計	
	年		世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯	人口
国勢調査実施年※	昭和	15 年	2, 345	13, 912	277	1, 632	649	4, 189	92	433	3, 363	20, 166
		25 年	2, 844	16, 803	337	1, 961	753	4, 922	113	592	4, 047	24, 278
		35 年	2, 887	15, 418	288	1, 615	628	3, 962	2, 869	7, 994	6, 672	28, 989
		40 年	2, 990	14, 606	298	1, 565	694	3, 816	2, 691	5, 232	6, 673	25, 219
		45 年	2, 934	13, 543	338	1, 549	794	3, 959	2, 300	4, 966	6, 366	24, 017
		50 年	3, 460	12, 228	403	1, 675	1, 179	4, 817	2, 219	4, 976	7, 261	23, 696
		55 年	3, 080	10, 989	399	1, 641	1, 343	5, 437	2, 165	4, 785	6, 987	22, 852
		60 年	3, 082	10, 789	432	1, 676	1, 491	5, 777	2, 120	4, 512	7, 125	22, 754
	平成	2 年	3, 132	10, 345	424	1, 711	1, 553	5, 911	2, 393	4, 823	7, 502	22, 790
		7 年	2, 945	9, 647	473	1, 755	1, 688	6, 104	2, 354	4, 782	7, 460	22, 288
		12 年	2, 710	8, 799	550	2, 006	1, 698	6, 036	2, 396	4, 973	7, 354	21, 814
		17 年	2, 595	8, 049	608	2, 068	1, 745	5, 909	2, 511	5, 225	7, 459	21, 251
		22 年	2, 562	7, 529	648	2, 119	1, 831	5, 912	2, 493	5, 062	7, 534	20, 622
		27 年	2, 595	6, 974	669	2, 036	1, 866	5, 736	2, 336	4, 592	7, 466	19, 338
	令和	2 年	2, 561	6, 375	704	1, 921	2, 019	5, 735	2, 179	4, 092	7, 463	18, 123
		3 年	2, 589	6, 314	697	1, 876	2, 048	5, 704	2, 212	4, 073	7, 546	17, 967
		4 年	2, 528	6, 102	695	1, 842	1, 997	5, 621	2, 279	4, 105	7, 499	17, 670
		5 年	2, 532	5, 969	691	1, 802	2, 039	5, 619	2, 241	3, 969	7, 503	17, 359
		6 年	2, 568	5, 880	695	1, 777	2, 036	5, 569	2, 128	3, 816	7, 427	17, 042
※		7 年	2, 600	5, 807	698	1, 740	2, 060	5, 556	2, 043	3, 663	7, 401	16, 766
		8 年	2, 607	5, 702	720	1, 740	2, 074	5, 507	1, 968	3, 549	7, 369	16, 498

グラフでみる人口・世帯数の推移





Ⅱ 教育行政

1 教育委員会

〔教育長および教育委員〕

（令和8年10月1日現在）

職　　名	ふりがな 氏　　名	性別	任　　期
教　育　長	かつまた　じゅん 勝　俣　　純	男	令和9年3月31日
委　　員 教育長職務代理者	ゆやま　のぶひこ 湯　山　伸　彦	男	令和10年9月30日
委　　員	さなだ　たくじ 眞　田　拓　史	男	令和11年9月30日
〃	にわ　ちえ 丹　羽　千　絵	女	令和12年9月30日
〃	いわた　かよこ 岩　田　佳代子	女	令和9年9月30日

〔歴代教育委員長・教育長〕

〈教育委員長〉

氏　名	就任年月日	退任年月日
小野　義則	昭和32年 9月 1日	昭和42年 9月30日
稲　　鉄房	昭和42年10月13日	昭和46年 4月 9日
米山　　孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山勘一	昭和51年 4月 1日	昭和55年 9月30日
湯山　英夫	昭和55年12月 3日	昭和58年 2月26日
米山　豊彦	昭和58年 7月 4日	平成 4年 3月31日
野木　美佑	平成 4年 4月 1日	平成 8年 6月30日
喜多　淳隆	平成 8年 7月 2日	平成12年11月30日
横山　明夫	平成12年12月 1日	平成14年 9月30日
米山　　彰	平成14年10月 1日	平成18年 7月 7日
関　　隆秀	平成18年 8月11日	平成19年 7月 2日
山本みどり	平成19年 7月 4日	平成20年11月30日
尾崎　宏也	平成20年12月 1日	平成26年 9月30日
山口今朝治	平成26年10月 1日	平成27年 3月31日

※平成27年3月31日法律改正により委員長職廃止

〈教 育 長〉

氏　名	就任年月日	退任年月日
尾崎　幸雄	昭和33年10月 1日	昭和49年 3月 9日
池谷　典男	昭和49年 4月17日	昭和53年 3月22日
渡辺　諄一	昭和53年 4月20日	昭和54年 9月30日
	昭和54年12月12日	昭和55年 9月30日
天野　　隆	昭和55年12月10日	昭和63年11月30日
稲　　鉞泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
嶋田　實雄	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 1日
岩田　正憲	平成 9年 4月21日	平成16年11月30日
池谷　俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
戸枝　　浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
天野　文子	平成24年12月 1日	平成27年 3月31日※
	平成27年 4月 1日	令和 3年 3月31日
髙橋　正彦	令和 3年 4月 1日	令和 6年3月31日
勝俣　　純	令和 6年 4月 1日	現　在

※法律改正に対応するため辞職

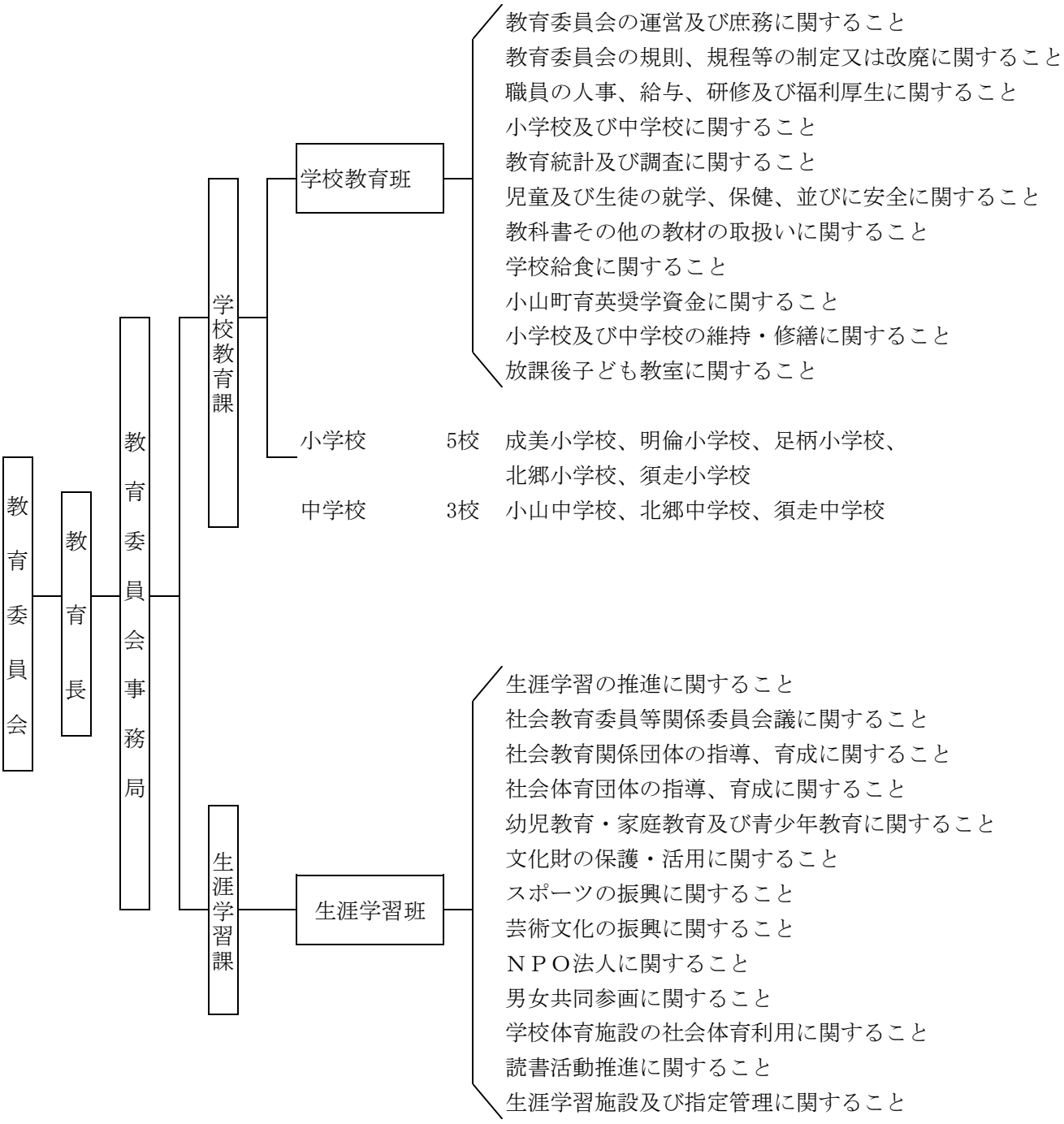
〔歴代教育委員〕

氏　名	就任年月日	退任年月日
永原　正雄	昭和31年10月 1日	昭和32年 7月20日
小見山　聞一	昭和31年10月 1日	昭和32年 9月30日
芹澤　寛哉	昭和31年10月 1日	昭和35年 9月30日
小野　義則	昭和31年10月 1日	昭和42年 9月30日
湯山　松與	昭和31年10月 1日	昭和49年12月17日
長田　富雄	昭和32年 8月30日	昭和35年 9月30日
尾崎　幸雄	昭和32年12月24日	昭和49年 3月 9日
小見山　権十	昭和35年10月14日	昭和39年 9月30日
田代　和男	昭和35年10月14日	昭和43年 9月30日
稲　鉄房	昭和39年10月 1日	昭和46年 4月 9日
高村　一男	昭和42年12月15日	昭和46年 4月 9日
池谷　二市	昭和43年10月 3日	昭和47年10月 2日
米山　孝	昭和46年 6月15日	昭和50年12月22日
小見山　勘一	昭和46年 6月15日	昭和54年 9月30日
鈴木　繁	昭和47年10月 3日	昭和50年 8月19日
池谷　典男	昭和49年 3月23日	昭和53年 3月22日
湯山　英夫	昭和50年 4月 1日	昭和58年 2月26日
渡辺　諄一	昭和50年10月 9日	昭和54年 9月30日
	昭和54年11月22日	昭和55年 9月30日
米山　豊彦	昭和51年 4月 1日	平成 4年 3月31日
岩田　章	昭和53年 7月26日	昭和61年 7月25日
岩田　亮一	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
天野　隆	昭和55年12月 1日	昭和63年11月30日
野木　美佑	昭和58年 7月 2日	平成 8年 6月30日
藤曲　秀夫	昭和61年10月 1日	昭和62年 7月11日
岩田　喜久治	昭和62年 7月16日	平成 2年 9月30日
稲　鉞泰	昭和63年12月 1日	平成 4年11月30日
喜多　淳隆	昭和63年12月 1日	平成12年11月30日

氏　名	就任年月日	退任年月日
福山　宗順	平成 2年10月 1日	平成 6年 9月30日
嶋田　實雄	平成 4年 4月 1日	平成 9年 4月 1日
田代　六男	平成 4年12月 1日	平成 9年 4月 7日
横山　明夫	平成 6年10月 1日	平成14年 9月30日
末光　愛正	平成 8年 7月 1日	平成11年 7月 2日
米山　元	平成 9年 4月15日	平成11年 4月 9日
岩田　正憲	平成 9年 4月15日	平成16年11月30日
米山　彰	平成11年 5月18日	平成18年 7月 7日
関　隆秀	平成11年 7月 3日	平成19年 7月 2日
山本　みどり	平成12年12月 1日	平成20年11月30日
池谷　俊一	平成16年12月 1日	平成20年11月30日
鈴木　俊一	平成19年 7月 3日	平成23年 7月 2日
米山　珠江	平成18年 8月11日	平成24年 3月31日
吉岡　道隆	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
戸枝　浩	平成20年12月 1日	平成24年11月30日
尾崎　宏也	平成14年10月 1日	平成26年 9月30日
齊藤　広人	平成20年 4月 1日	平成28年 3月31日
天野　文子	平成24年12月 1日	平成27年 3月31日
山口　今朝治	平成24年12月 1日	平成28年11月30日
米山　芳子	平成24年 4月 1日	令和元年 9月30日
相原　正和	平成28年 4月 1日	令和 3年 9月30日
稲　恵子	平成23年 7月 3日	令和 4年 9月30日
山岸　繁子	令和元年10月 1日	令和 7年 9月30日
湯山　伸彦	平成28年12月 1日	現　在
眞田　拓史	令和 3年10月 1日	現　在
丹羽　千絵	令和 4年10月 1日	現　在
岩田　佳代子	令和 7年10月 1日	現　在

2 教育委員会機構図および事務分掌

＜主な事務分掌＞



3 令和８年度教育方針・教育施策

令和８年度 小山町教育委員会グランドデザイン（教育方針）

金太郎生誕の地 おやま

小山町民憲章

わたくしたちは、富士のもと 水と緑にめぐまれていることに誇りを持ち、
金太郎のように、健康で、明るい、豊かなまちづくりをすすめます。

1. めぐまれた自然を愛し、美しいまちをつくります。
1. のびゆく力を育て、文化の薫り高いまちをつくります。
1. たがいに助け合い、親切で、あたたかいまちをつくります。
1. きまりを守り、安全で、住みよいまちをつくります。
1. 働くことによろこびをもち、健康なまちをつくります。

小山町教育委員会がめざす人間像

凛とした富士、強くて優しい金太郎のような子
～生きて働く力を学び続ける小山町の教育～

富士のような人
人との関わり合いを大切にし、地域の一員として確かな存在感を持って、よりよい社会づくりに参画する人

金太郎のような人
ふるさと小山で育ったことに誇りを持ち、常に学び、自立した個人として、社会で自らの能力を発揮する人

知 生きて働く学力・体験
徳 豊かな心の醸成
体 健康な心身の育成

文部科学省 第４期教育振興基本計画
・持続可能な社会の創り手の育成
・日本社会に根差したウェルビーイングの向

静岡県教育振興基本計画（２０２５～２０２８年度）
未来を切り拓く人材の育成と社会を生き抜く力を育む教育の実現

第二次 小山町教育振興基本計画（２０２６～２０３５年度）

（●●●●●●は事業内容と各年代の関連を示します）

心豊かな生涯学習の推進

◎生涯学習の推進●●●●●●
・生涯学習フェスティバルの実施
・生涯学習関連団体との連携推進
◎学習機会の提供●●●●●●
・指定管理者と連携した自主文化事業、各種講座、教室の開催
◎図書館サービス事業の充実●●●●●●
・図書館ボランティアによる読書活動、夜間延長開館の実施
・ブックスタート、セカンドブックの充実
・子ども読書活動の推進
◎人材の活用・育成●●●●
・スポーツ・文化芸術、人材バンクの設置と各種教室の開催
◎生涯学習環境の整備●●●●●●
・総合文化会館、図書館、体育館等の指定管理による運営
◎情報提供と町民ニーズの反映●●●●●●
・情報紙の発行
◎ふるさとを知り、ふるさとを愛する心の涵養●●●●●●

誰もが活躍できる男女共同参画の推進

◎小山町男女共同社会づくり行動計画の推進●●●●●●
・人権の尊重と男女共同参画の意識づくり
・男女共同参画の理解促進と女性が参画できる社会づくり
・だれもがいきいきと安心して暮らせる環境づくり
・男女共同参画推進講演会の開催

町民との協働・共創

◎協働・共創の仕組みづくり●●●●●●
・将来の地域活動等への参加につながる体験活動の重視
・まちづくりのリーダーとなる人材の育成
・社会総がかりのいじめ対応／子どもの見守り体制づくり
・地域と連携した学校運営
・小山高生による小山町役場インターンシップ事業の推進

地域交流・国際交流の推進

◎地域間交流の推進●●
・交流市町の生徒との富士登山、鬼伝説交流
・広島市における平和教育
◎国際理解教育の推進●●
・ALTの派遣事業の継続（全校配置）
・リモート授業による国際交流
・夢チャレンジ事業の拡充（英語検定）

園小中連携による一貫した教育の充実

◎園・小・中連携の充実●●
・架け橋期プログラムの作成と職員研修の推進
・スタートカリキュラムへの接続
・連携による発達支援の充実
◎児童福祉の連携●●●
・児童虐待防止の働きかけ、相談体制の強化
・関係諸機関との情報の共有

〈幼児教育・学校教育・生涯学習における一貫した教育の推進〉

充実期
壮年期
子育て期
青年期
学校教育
幼児教育

地域文化の振興と青少年の育成

◎小山町文化芸術振興基本計画の推進●●●●●●
・町民文化祭、文芸誌の発刊
・文化連盟との連携 ・各種助成金の交付
◎郷土資源・文化財の保存と活用●●●●●●
・「小山町文化財保存活用地域計画」に基づく文化財事業の推進
◎家庭・地域社会における青少年の育成●●
・中学生ボランティア事業の充実
・子ども会、青少年育成団体への援助
・青少年活動指導者リーダーの育成、はたちの集いの開催
・青少年海外チャレンジへの助成

スポーツ・レクリエーション活動の振興

◎小山町スポーツ振興基本計画の推進●●●●●
・指導者、団体の育成
・スポーツ推進委員、少年スポーツ指導者の育成
・各種助成金の交付 ・スポーツ施設の整備
◎スポーツ・レクリエーションの推進
・町民体育大会、富士マラソンフェスタ等各種スポーツ大会の開催
・スポーツ協会との連携 ・パークゴルフ大会の開催
・青少年海外チャレンジへの助成

元気よく登校、笑顔で帰宅
～子供・教職員・保護者・地域のWell-being実現～

◎誰もが主役で学べる授業●●
○主体的・対話的で深い学びの実現
・協働的な学び ・低学年連携科
・教育DX推進…学習観の転換と探究的な学び
・支援員、町単独講師等の活用
・少人数、TT授業の条件整備・充実 ・ALT全校配置
○教職員の主体的な学びの推進
・校内研修の充実・校区内連携学習
・総括指導員のサポートによる授業力向上
・全国学力・学習状況調査の分析と連動した校内研修体制

◎挑戦と体験から学ぶ特別活動●●
○エーンエンジン（主体性・協働性、責任感）を養う行事
・連合生徒会活動…交流会、ムーブメイキング
・部活動改革、学校クラブ活動の充実
・総合学習の充実 ・ラーニングセッション導入
・地域特性や地域課題に関わる学習の充実
○豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
・朝運動プロジェクト推進
・平和教育の推進…広島平和教育生徒派遣事業等
・国際理解教育の推進…町単独講師としてのALT活用、日常的な交流

◎人権感覚を養い、絆を深める生徒指導●●
○温かな人間関係作り
・静岡県版SEL…業教部・生指部との連携
・人との関わりの促進…話合いによる組織づくり
・生徒指導提要の活用…発達支持的生徒指導の効果的な取組
○困難を抱える児童生徒への指導・支援
・いじめ予防、不登校対応…早期発見早期対応、最後まで見届ける指導
・組織対応強化、相談体制の充実…SC・SSW・巡回相談員・福祉との連携
・金太郎教室、ケース会議の活用
・特別支援教育の充実…通級指導教室

◎つながりを生かした学校づくり●●
○小中一貫校化に向けた学校間連携の充実
・小中連携…目指す子供像の共有、定期会議・小小連携…合同授業、合同行事等
・中中連携…交流会、合同部活動、連合生徒会
・園との連携強化…大胆なスタートカリキュラム実施
・魅力ある教育課程、サキドリ研究事業
・教頭・教務主任研修会の計画的な実施
・一貫校化に向けた施設整備等
○地域に開かれた学校づくり
・コミュニティスクール制度の活用…学校運営協議会の活用、熟議の活性化
・CSディレクターの活用

小山町に育ち 生きる人

令和８年度小山町教育委員会学校教育課グランドデザイン

Oyama-Town 小山町

凛とした富士、強くて優しい金太郎のような子

～生きて働く力を学び続ける小山町の教育～

誰もが主役で学べる授業

学校評価「授業がわかる」95%

➢主体的・対話的で深い学びの実現

- 協働的な学び　・低学年書道科
- 教育DX推進…学習観の転換と探究的な学び
- 支援員、DXｲﾉﾍﾞｰﾀｰ、町単独講師等の活用
- 少人数、TT指導の条件整備・充実
- ALT全校配置

➢教職員の主体的な学びの充実

- 校内研修の充実　・校区内連携学習
- 総括指導員のサポートによる授業力向上
- 全国学力・学習状況調査の分析と連動した校内研修体制

人権感覚を養い、絆を深める生徒指導

学校評価「信頼できる先生がいる」95%

➢温かな人間関係作り

- 静岡県版SEL…養教部・生指部との連携
- 人との関わりの促進
  …話合いによる組織づくり
- 生徒指導提要の活用
  …発達支持的生徒指導の効果的な取組

➢困難を抱える児童生徒への指導・支援

- いじめ予防、不登校対応
  …早期発見、早期対応、最後まで見届ける指導
- 組織的対応強化、相談体制の充実
  …SC・SSW・巡回相談員・福祉との連携、金太郎教室、ケース会議の活用
- 特別支援教育の充実…通級指導教室

元気よく登校、笑顔で帰宅

～子供・教職員・保護者・地域のWell-being実現～

➢エージェンシー(主体性・協働性、責任感)を養う行事

- 連合生徒会活動…交流会、ﾙｰﾙﾒｲｷﾝｸﾞ
- 部活動改革、学校クラブ活動の充実
- 話合い活動の充実　・ラーケーション導入
- 地域特性や地域課題に関わる学習の充実

➢豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

- 朝運動プロジェクト推進
- 平和教育の推進…広島平和教育生徒派遣事業等
- 国際理解教育の推進
  …町単独講師としてのALT活用、日常的な交流

挑戦と体験から学ぶ特別活動

学校評価「学校が楽しい」95%

➢小中一貫校化に向けた学校間連携の充実

- 小中連携…目指す子供像の共有、定期会議
- 小小連携…合同授業、合同行事等
- 中中連携…交流会、合同部活動、連合生徒会
- 園との連携強化…大胆なｽﾀｰﾄｶﾘｷｭﾗﾑ実施
- 魅力ある教育課程、サキドリ研究事業
- 教頭・教務主任研修会の計画的な実施
- 一貫校化に向けた施設整備等

➢地域に開かれた学校づくり

- コミュニティ・スクール制度の活用
  …学校運営協議会の活用、熟議の活性化
  CSディレクターの活用
- 学校評価プロジェクトの推進

つながりを生かした学校づくり

町民意識調査「子供の教育について学校・家庭・地域の連携がとれている」50%

みんなが心おおらかにすごせる場　＝　学校

➢教職員の働きがいと働きやすさ

- 校務DX化による業務改善
- 業務量管理、働き方改革研修
- 保護者等対応の高度化　等

➢安心・安全な学校

- SDG’sを意識した取組
- 過ごしやすい環境づくり、事故防止
- 緊急時対応、セキュリティ対策　等

主な教育施策

① 心豊かな生涯学習の推進

○ 生涯学習の推進
- 生涯学習推進委員会、講演会の開催
- 生涯学習フェスティバル、男女共同参画推進講演会等の開催

○ 文化芸術振興基本計画に基づいた事業の推進
- 文化事業、教室講座の開催、人材育成の推進

○ 図書館サービス機能の充実
- 第３次小山町子ども読書活動推進計画に基づいた事業の推進
- ブックスタート・セカンドブック事業の充実

○ 人材の活用及び育成
- ボランティアバンクの推進及び登録者を活用した各種教室の開催

○ 施設の管理運営
- 適切な施設管理及び整備を進めるとともに多様な学習の場として活用

○ 情報提供と町民ニーズの反映
- 町民ニーズを的確に反映し、情報誌、チラシ等の発行

② 地域文化の振興と青少年の育成

○ 地域文化活動の推進
- 町民文化祭等の開催
- 文芸誌『駿河路』の発刊及び「駿河路のつどい」の開催

○ 郷土資源及び文化財の活用
- 文化財の保存活用及び調査

○ 家庭・地域社会における青少年の育成
- ふるさと金太郎博士事業の推進
- 青少年補導の実施
- はたちの集いの開催及び新成人者への記念品贈呈
- 金太郎教室の運営、指導

③ スポーツ及びレクリエーションの活動の振興

○ スポーツ振興基本計画に基づいた事業の推進
- スポーツ推進委員活動の推進
- スポーツ事業、教室講座の開催、人材育成の推進

○ スポーツ及びレクリエーションの推進
- 町民スポーツ祭等各種スポーツ大会の開催
- レクリエーションスポーツの普及

④ 生きる力を育む学校教育の充実

○ 確かな力を育む学校教育の充実
- 少人数・ＴＴ授業の実施
- 低学年支援員、特別支援員の配置
- 特別支援教育の充実
- 総括指導員、授業アドバイザーの配置
- 人権教育の推進
- 学校図書館の充実のための支援員の配置
- 放課後子ども教室の充実
- 夢チャレンジ事業の推進（英検受験・総合学力調査）
- ＩＣＴ教育環境の充実、タブレット端末の活用
- ＡＬＴの全校配置による外国語・英語の充実

○ 小山町金太郎十か条の推進

小山町　金太郎十か条

金太郎のような強い心と体、高い志を持ち、
みんなのために役立つ人を目指します

一、あいさつを進んでします
二、きまりを守ります
三、みんなと仲良くします
四、時間を守ります
五、うそや隠しごとはしません
六、早寝早起きをして、朝ご飯を食べます
七、相手を考えた言葉づかいをします
八、毎日、本を読み、勉強をします
九、体を進んで動かします
十、いろんなことに進んで挑戦します

○ 豊かな感性と健やかな心身を育む教育の推進
- 道徳の時間を要とした心の教育の推進
- 食育の推進
- 安全でおいしい学校給食の実施
- 生徒指導連絡会の充実

○ 家庭教育及び幼児教育の推進
- ぺんぎんランドの充実
- 子育てコンシェルジュによる巡回相談の実施

○ 信頼のある安心な学びの場の整備の推進
- 教材備品、図書の整備
- 遊具、体育器具の安全点検
- 1人1台タブレット端末の利活用
- 地域とともにある学校づくりの推進
- 育英奨学制度の周知

○ 通級指導教室の活用と推進

⑤ 地域間交流及び国際交流の推進

○ 国際理解の推進
- ＡＬＴ配置事業の実施

⑥ 子育て支援の充実

○ 子育てしやすい環境の整備
- こども園運営の充実
- 子育て支援センター「きんたろうひろば」運営の充実
- ファミリーサポート事業の推進
- 子育て短期支援事業の推進
- 乳児等通園支援事業の開始

○ ＤＶ及び児童虐待防止の啓発や働きかけ、相談体制の強化
- 関係機関との相談体制の強化
- こども家庭センターの連携強化

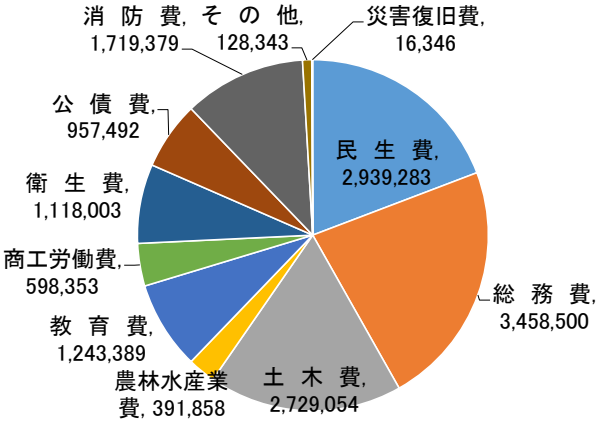
4 教育費予算

令和８年度教育費予算（当初予算）は、12億4千338万9千円で、前年度に比べ1億948万5千円の増額（前年度比8.8%）となり、町一般会計予算153億円の8.1%（前年度7.6%）となっている。

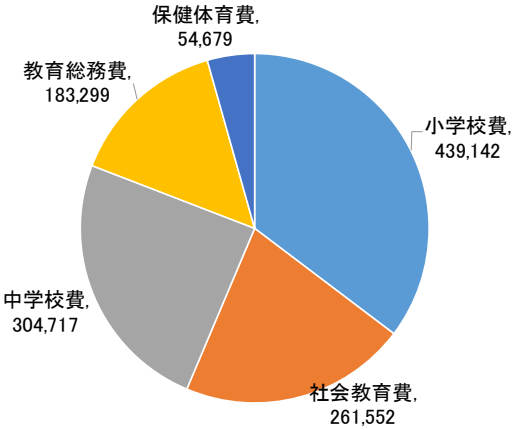
(1) 一般会計歳出予算と教育費予算

（単位：千円）

【町一般会計総額　15,300,000 千 円】



【教育費総額　1,243,389 千 円】



(2) 教育費予算の推移（当初予算額）

（単位：千円）

年　度	町一般会計予算総額	教 育 費 総 額	町予算に対する割合
平 成 27 年 度	8,970,000	805,276	9.0%
平 成 28 年 度	9,580,000	775,202	8.1%
平 成 29 年 度	10,600,000	909,703	8.6%
平 成 30 年 度	12,480,000	1,102,788	8.8%
令 和 元 年 度	15,230,000	1,812,361	11.9%
令 和 2 年 度	10,940,000	917,467	8.4%
令 和 3 年 度	11,460,000	952,595	8.3%
令 和 4 年 度	12,550,000	1,144,218	9.1%
令 和 5 年 度	12,480,000	1,091,241	8.7%
令 和 6 年 度	14,760,000	1,710,795	11.6%
令 和 7 年 度	14,880,000	1,133,904	7.6%
令 和 8 年 度	15,300,000	1,243,389	8.1%

費　目	R８予算額	割　合
民　生　費	2,939,283	19.2%
総　務　費	3,458,500	22.6%
土　木　費	2,729,054	17.8%
農林水産業費	391,858	2.6%
教　育　費	1,243,389	8.1%
商工労働費	598,353	3.9%
衛　生　費	1,118,003	7.3%
公　債　費	957,492	6.3%
消　防　費	1,719,379	11.2%
そ　の　他	128,343	0.8%
災害復旧費	16,346	0.1%
一般会計総額	15,300,000	100.0%

費　目	R８予算額	割　合
小学校費	439,142	35.3%
社会教育費	261,552	21.0%
中学校費	304,717	24.5%
教育総務費	183,299	14.7%
保健体育費	54,679	4.4%
計	1,243,389	100.0%

(3) 令和8年度教育費予算の内訳

（単位：千円）

	８年度 予　算	７年度 予　算	比　較	特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
9. 教育費	**1,243,389**	**1,133,904**	**109,485**	**53,599**	**8,400**	**118,435**	**1,062,955**
1. 教育総務費	**183,299**	**175,192**	**8,107**	**19**	**0**	**1,200**	**182,080**
1. 教育委員会費	1,540	1,332	208				1,540
2. 事務局費	181,759	173,860	7,899	19		1,200	180,540
2. 小学校費	**439,142**	**419,438**	**19,704**	**49,170**	**8,400**	**32,220**	**349,352**
1. 学校管理費	390,939	368,284	22,655	47,190	8,400	32,220	303,129
2. 教育振興費	48,203	51,154	△2,951	1,980			46,223
3. 中学校費	**304,717**	**220,080**	**84,637**	**3,976**	**0**	**68,922**	**231,819**
1. 学校管理費	251,928	193,443	58,485	3,568		68,922	179,438
2. 教育振興費	52,789	26,637	26,152	408			52,381
4. 社会教育費	**261,552**	**282,812**	**△21,260**	**434**	**0**	**12,168**	**248,950**
1. 社会教育総務費	63,662	61,048	2,614	434		300	62,928
2. 文化振興費	19,135	16,330	2,805			11,858	7,277
3. 図書館費	0	561	△561				0
4. 生涯学習センター管理費	178,755	204,873	△26,118			10	178,745
5. 保健体育費	**54,679**	**36,382**	**18,297**	**0**	**0**	**7,850**	**46,829**
1. 保健体育総務費	25,320	26,218	△898				25,320
2. 体育施設費	29,359	10,164	19,195			7,850	21,509

① 人口1人当たりの教育費

（単位：円/人）

区分＼年度	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(予算)	8年度(予算)
教育費	1,046,123,309	1,691,382,403	1,133,904,000	1,243,389,000
人口（年度当初）	17,359	17,042	16,766	16,498
1人当たりの教育費	60,264	99,248	67,631	75,366

② 児童1人当たりの小学校費

（単位：円/人）

区分＼年度	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(予算)	8年度(予算)
小学校費	451,496,971	704,538,843	419,438,000	439,142,000
児童数(5月1日現在)	890	863	827	805
1人当たりの小学校費	507,300	816,383	507,180	545,518

③ 生徒1人当たりの中学校費

（単位：円/人）

区分＼年度	5年度(決算)	6年度(決算)	7年度(予算)	8年度(予算)
中学校費	197,756,999	284,579,064	220,080,000	304,717,000
生徒数(5月1日現在)	435	404	408	404
1人当たりの中学校費	454,614	704,404	539,412	754,250

Ⅲ 学校教育等

1 学校教育関係等主要事業

(1) 小中一貫校化の推進

・ 須走中学校－須走小学校（施設一体型・令和９年度開校予定）
・ 北郷中学校－北郷小学校（施設分離型・令和９年度開校予定）
・ 小山中学校－成美小学校・明倫小学校・足柄小学校（施設分離型・令和９年度開校予定）

(2) 研究、研修の推進

・ 校長及び教頭研修
　学校経営、教員研修、生徒指導他当面の問題等
・ 生徒指導主事(任)研修の実施と生徒指導の充実
　「学校いじめ防止基本方針」の策定による「いじめ」の早期発見･早期対応、
　不登校児童生徒への対応、問題行動への対応、生徒理解等
・ 文部科学省指定研究校（R8・9年度）
　北郷小学校　北郷中学校
・ 町初任者研修会、中堅教諭等資質向上研修、２年次研修、３年次研修　実施
・ 特別支援教育推進事業
・ 情報主任者研修会
・ 教頭・教務合同研修会
・ 支援員研修会
・ 研修主任研修会
・ 菜の花講座（若手教員研修会）

(3) 校内研修の推進

・ 自校の課題に沿って研修、研究を進める。
・ 駿東地区教育研究会に参加し、各校の教育実践をもとに研修を深める。
　指導主事、指導員の積極的な校内研修への参加、指導、助言
　各校の研究主題(テーマ)
　・ 成美小学校　：「自分事として学びに向かう子どもの育成」
　　～自ら学ぶ・共に学ぶ～
　・ 明倫小学校　：「自ら考え、学び続ける子」
　　～子供自身が「学びたい・考えたい・伝えたい」と感じる授業を目指して～
　・ 足柄小学校　：「自ら伝え合い　学びを深める子の育成」
　　～子供が創る授業を目指して～
　・ 北郷小学校　：「学びを楽しむ人」
　　～関わり合って「なるほど！」をふやす授業を目指して～
　・ 須走小学校　：「関わり合い　学びを深める子」
　　～子どもたちの「○○したい」を引き出す単元づくり～
　・ 小山中学校　：「子供が学び続ける授業の実現」
　　～つながり～
　・ 北郷中学校　：「学びを舵取る生徒」
　・ 須走中学校　：「よく聴き 深く考え いきいきと表現する生徒の育成」
　　～学習課題の機能性を追究して～

（4）こども園研修の推進

小山町こども園の会研修テーマ
「生きる力の基礎を培う保育の創造」

各園の研修テーマ
・すがぬまこども園：『子どもも大人も認め合える園をめざして』
～語ろう！笑おう！育ちあおう！～
・きたごうこども園：『伝えあえる環境づくりの工夫』
～伝わるってうれしいね～
・すばしりこども園：『″できた″を積み重ねるための保育の工夫』

（5）教職員教育論文の奨励

・小山町教育研究奨励賞の授与

（6）健康教育

・学校保健安全委員会の活動と健康教育の充実
・校内体力テストの実施
・小学校の体力づくり（朝フィット）の取組
・「のびゆくこども」の編集刊行

（7）思いやり豊かな心を育てる

・三世代主張大会
町シニアクラブ連合会主催支援
・サマーショートボランティア活動
静岡県ボランティア協会主催・町社会福祉協議会共催
・老人福祉施設等訪問交流
・地域美化活動への参加

（8）平和教育の推進

・小山町立中学校に在籍する生徒が広く平和のすばらしさや命の重みについて深く考えながら自尊心の高揚を図るため、被爆地である広島市等へ生徒６名を派遣する。派遣後、見聞したことを、校内外の発表の場において、広く平和な生活のすばらしさや命の重みについて、その考えや思いを伝える。

（9）適正な就学指導と理解啓発

・町教育支援委員会:年３回実施のほか、随時相談活動を進める。

（10）小学校･中学校･こども園の教育環境の整備充実

・各小・中学校・こども園の施設および備品等の整備
・こども園と連携した小学１年生のスタートカリキュラムの実施
・架け橋プログラムの作成（園・小連携）

2 こども園の目標等

(1) こども園の目標

小山町立こども園教育保育目標:「金太郎のように心豊かでたくましい子」

＜かんがえる子＞ ＜やさしい子＞ ＜げんきな子＞

（各園重点目標）

・すがぬまこども園：「げんきいっぱい　のびのび遊べる子」
・きたごうこども園：「自ら遊び、学べる子の育成」
・すばしりこども園：「意欲をもって遊べる子の育成」

(2) こども園における歳児別保育目標

・0歳児 ：
- それぞれのリズムで生活し、安心して過ごす。
- 保育者との信頼関係を深める。
- 環境との関わりの中で、様々な物に好奇心と興味をもち楽しむ。

・1歳児 ：
- 保育者と信頼関係を築き、安心して過ごす。
- 好きな遊びや探索活動を十分に楽しむ。
- 様々な体の動きを経験し、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
- 保育者や友達と見立て遊びやつもり遊びなどを楽しむ。
- 保育者に気持ちや思いを見振りや簡単な言葉で表現しようとする。

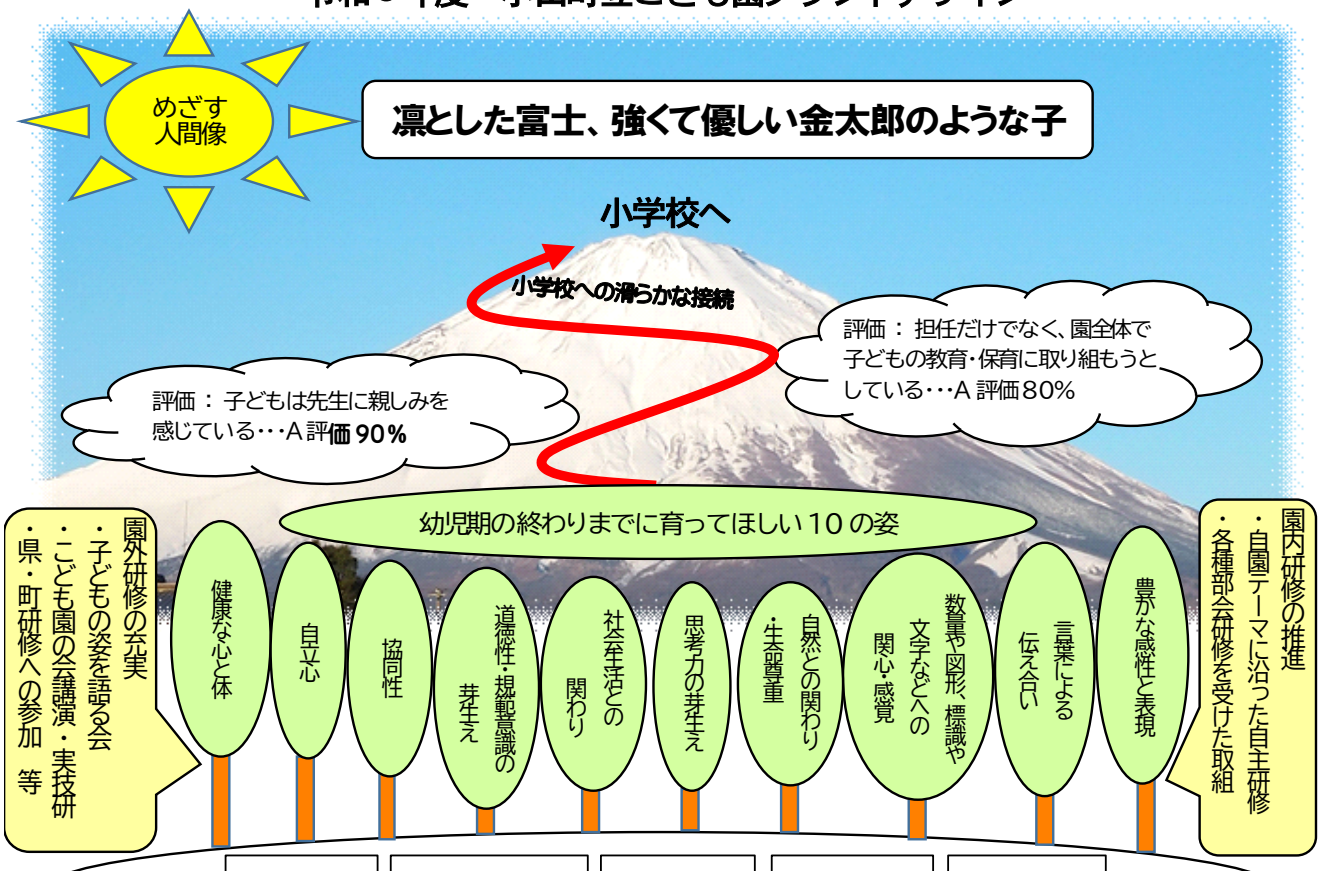
・2歳児 ：
- 一人一人が安心して生活を送る中で、自分の思いを表現し、十分に自己発揮していく。
- 保育者とのかかわりの中で、自分でできることが増え、生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
- 保育者や友達と関わり合う喜びや楽しさを知る。
- 保育者や友達と一緒に言葉のやりとりをし、ごっこ遊びを楽しむ。
- 様々な季節の自然にふれ、関心をもった事象について探り、発見する楽しさを知る。

・3歳児 ：
- 園生活に慣れ親しみ、安心して過ごす。自分でできる喜びを感じ、自ら行おうとする。
- 新しい環境の中で自分を思いきり表現し、様々な事柄に興味・関心をもつ。
- 保育者や友達と一緒に言葉のやり取りを楽しみ、イメージを共有しながらごっこ遊びや集団遊びを楽しむ。
- 友達との関わりを楽しみ、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

・4歳児 ：
- 安心して自己発揮し、園生活を楽しむ。
- 自分がやりたいことを見つけ、夢中になって遊び込む。
- 保育者や友達に親しみを持ち、共に遊び生活することの喜びや楽しさを味わう。
- 遊びや生活の中で感じた疑問や、目的に向けて、試したり、工夫したり、挑戦したりする。
- 身近な社会や自然の事象に興味や関心を抱き、親しむ。
- 遊びの経験を広げ、さまざまな方法で表現する。

・5歳児 ：
- 豊かな体験を積み重ねながら、健康や安全への意識をもち、自ら主体的に行動する。
- 自分の気付きや、考え、思いを、友達と共有しながら、試行錯誤したり、創意工夫したりして、遊びを楽しむ。
- 生活や遊びの中で、数量・図形、標識や文字などに対する感覚を豊かにし、様々な方法で表現する。
- 自然や季節、文化、社会、様々な人と関わりながら、好奇心や探究心、畏敬の心や命の大切さを感じ、遊びや生活に取り入れる。
- 好奇心、探究心をもって行動し、友達と共に考え、判断して、充実した園生活を過ごす。

令和８年度　小山町立こども園グランドデザイン



５領域　健　康　｜　人間関係　｜　環　境　｜　言　葉　｜　表　現

３つの柱　健やかにのびのび育つ　｜　身近な人と気持ちが通じ合う　｜　身近なものと関わり感性が育つ

小山町立こども園教育・保育目標　金太郎のように心豊かでたくましい子

すがぬまこども園
重点:げんきいっぱい
のびのび遊べる子

具体策
- 信頼関係を基盤に、個性を大切にした援助の推進
- 身近な自然･人･もの･ことへの関わりによる心の育成
- 保護者、地域との連携
- 共感し、共有する子育て支援

きたごうこども園
重点:自ら遊び、
学べる子の育成

具体策
- 応答的対話的なやり取り
- 直接体験を通した創意ある保育の工夫
- 「10 の姿」を意識した発達と学びの連続性
- 保護者、地域、小中との連携

すばしりこども園
重点:意欲をもって
遊べる子の育成

具体策
- 思いに寄り添い、自己発揮できる援助の工夫
- 直接体験･感情体験で自ら遊び出せる保育
- 家庭や地域(人や物)との密接なつながり

小山町立こども園ならではの「こども園文化」の創造
○保護者・地域との連携：園活動の情報発信・地域の人材や自然を生かした活動の実践
○子育て支援の充実：ペンギンランドの実施、金太郎ひろば・利用者支援・健康増進課との連携
○楽しく働き甲斐のある職場づくり：ICT 機器の活用・世代別研修会による意見集約と反映
○こども未来課・学校教育課との連携
　・特別支援教育の充実・ケース会議・巡回相談・言語聴覚士相談・医療、関係機関との連携
○「小山町こども園の会」での組織的な研修

生きる力の基礎を育む幼児教育･保育の充実

3 小学校、中学校、こども園一覧表

(1) 小学校

(令和8年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電話 FAX	校長名 教頭名	学級数	児童数 男	児童数 女	児童数 計	学年別児童数 1年	2年	3年	4年	5年	6年
成美小学校	明7.3	藤曲 150	76-0063 76-0876	樋口奈津子 土屋貴弘	(2) 6	(1) 60	(1) 67	 127	 16	(1) 27	(1) 19	 22	 26	 17
明倫小学校	明43.11	菅沼 627	76-0064 76-0051	品川秀一 滝口卓巳	(2) 6	(2) 54	(1) 51	(3) 105	 13	 12	 17	 21	(1) 24	(2) 18
足柄小学校	明42.12	竹之下 2411-1	76-0596 76-0327	齊藤浩二 眞東成至	 6	 34	 37	 71	 7	 11	 12	 14	 15	 12
北郷小学校	明14.10	用沢 604-1	78-0520 78-0500	丹澤謹志 小林由実	(3) 12	(11) 142	(2) 172	(13) 314	(1) 51	(1) 46	(2) 50	(2) 50	(4) 58	(3) 59
須走小学校	明7.5	須走 70-18	75-2730 75-2729	石田善正 山路崇仁	(2) 6	(6) 73	(3) 88	(9) 161	(1) 31	(1) 20	(2) 26	(2) 27	(1) 28	(2) 29
合計					(9) 36	(20) 363	(7) 415	(27) 778	(2) 118	(3) 116	(5) 124	(4) 134	(6) 151	(7) 135

( )は特別支援学級・児童数

(2) 中学校

(令和8年5月1日現在)

学校名	創立年月	所在地	電話 FAX	校長名 教頭名	学級数	生徒数 男	生徒数 女	生徒数 計	学年別生徒数 1年	2年	3年
小山中学校	昭22.4	藤曲 142	76-0154 76-0308	田中清子 平松真美	(2) 6	 86	(2) 61	(2) 147	 46	(1) 49	(1) 52
北郷中学校	昭22.4	用沢 355	78-0514 78-0585	持田晃寿 小池由美子	(2) 6	(2) 97	(2) 81	(4) 178	(4) 64	 53	 61
須走中学校	昭22.4	須走 99-7	75-2004 75-2088	滝口宜男 村上公雄	(2) 3	(1) 43	(3) 36	(4) 79	(2) 20	(1) 29	(1) 30
合計					(6) 15	(3) 226	(7) 178	(10) 404	(6) 130	(2) 131	(2) 143

( )は特別支援学級・児童数

北郷中学校

（3）こども園

（令和8年5月1日現在）

園 名 （創立年月）	第1園舎 第2園舎 所在地	電 話	園長名	学級数	園児数			年齢別園児数					
					男	女	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
すがぬまこども園 （令和2年4月）	菅沼274-2	76-0429	後藤佳江	7	43	48	91	5	11	17	17	15	26
きたごうこども園 （平成26年4月）	用沢207-1	78-0504	室伏さゆみ	10	56	54	110	4	10	19	23	27	27
すばしりこども園 （令和2年4月）	須走83	75-2710	勝又礼子	6	40	39	79	5	7	11	20	22	14
町立こども園　計				23	139	141	280	14	28	47	60	64	67
私立菜の花こども園 （平成28年4月）	竹之下570-1	76-6622	田代志のぶ	6	32	36	68	5	7	10	14	16	16
私立みらいこども園 （令和2年4月）	上野1024-5	76-2323	志田まゆ子	6	29	40	69	2	5	14	14	20	14
私立こども園　計				12	61	76	137	7	12	24	28	36	30
合　計				35	200	217	417	21	40	71	88	100	97

※令和2年4月～町立園全園こども園化

駿河小山幼稚園（平成22年4月）・いきど保育園（昭和31年9月）→するがおやまこども園※（令和7年3月閉園）
すがぬま保育園（昭和38年11月）→すがぬまこども園
足柄幼稚園（昭和35年4月）→廃園（令和2年3月）
須走幼稚園（昭和31年4月）・すばしり保育園（昭和30年9月）→すばしりこども園

4 小山町立学校通学区一覧

(1) 通常学級の通学区域

学　校　名	通　　学　　区　　域
成 美 小 学 校	小山1区～4区、生土区、音渕区、中島区、柳島区、湯船区、藤曲区、落合区
明 倫 小 学 校	南藤曲区、茅沼区、菅沼区、坂下区、谷戸区、大脇区、原向区、所領区
足 柄 小 学 校	向方区、宿区、新柴区、桑木区
北 郷 小 学 校	用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区、下古城区、大胡田区、上古城区、一色区
須 走 小 学 校	上本町区、下本町区、下原区、東原区、緑ヶ丘区、雲雀ヶ丘区
小 山 中 学 校	成美小学校、明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北 郷 中 学 校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須 走 中 学 校	須走小学校の通常学級の通学区域

(2) 特別支援学級(知的障害)の通学区域

学　校　名	通　　学　　区　　域
成 美 小 学 校	成美小学校の通常学級の通学区域
明 倫 小 学 校	明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北 郷 小 学 校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須 走 小 学 校	須走小学校の通常学級の通学区域
小 山 中 学 校	小山中学校の通常学級の通学区域
北 郷 中 学 校	北郷中学校の通常学級の通学区域
須 走 中 学 校	須走中学校の通常学級の通学区域

(3) 特別支援学級(自閉症・情緒障害)の通学区域

学　校　名	通　　学　　区　　域
成 美 小 学 校	成美小学校の通常学級の通学区域
明 倫 小 学 校	明倫小学校及び足柄小学校の通常学級の通学区域
北 郷 小 学 校	北郷小学校の通常学級の通学区域
須 走 小 学 校	須走小学校の通常学級の通学区域
小 山 中 学 校	小山中学校の通常学級の通学区域
北 郷 中 学 校	北郷中学校の通常学級の通学区域
須 走 中 学 校	須走中学校の通常学級の通学区域

5 学校の位置と標高

学　校　名	緯　　度	経　　度	標　　高
成 美 小 学 校	35° 21′ 36″	138° 59′ 16″	３００ｍ
明 倫 小 学 校	35° 21′ 10″	138° 58′ 41″	３２１．５ｍ
足 柄 小 学 校	35° 19′ 46″	138° 59′ 09″	３４２．２ｍ
北 郷 小 学 校	35° 20′ 28″	138° 56′ 49″	４４６．５６ｍ
須 走 小 学 校	35° 21′ 39″	138° 52′ 21″	７８２．６７９ｍ
小 山 中 学 校	35° 21′ 29″	138° 59′ 23″	２８５ｍ
北 郷 中 学 校	35° 20′ 39″	138° 56′ 57″	４４５ｍ
須 走 中 学 校	35° 21′ 44″	138° 52′ 18″	７８９．４７３ｍ

6 小学校、中学校、こども園施設の状況

小学校

令和8年5月1日現在

学校名		校舎等の現状							校地の状況			付属施設	
		校舎			屋内運動場			合計㎡	運動場㎡	校地敷地その他㎡	合計㎡	屋外運動施設	
		木造㎡	非木造㎡	建設年月	木造㎡	非木造㎡	建設年月					プール	建設年月
成美小学校	校		4,166	S59.7		1,126	S54.3	屋				50*15	S34.9
	給		225	S59.8								・22.5*4.5	S51.3
	計		4,391			1,126		5,517	8,755	11,328	20,083		
明倫小学校	校		3,656	S60.7		(1,123)	S53.3	屋				25*13	H10.6
	給		148	S60.9				3,804				・13*5	
	計		3,804			(1,123)		(4,927)	8,377	5,745	14,122		
足柄小学校	校		2,192	S61.3		474	S46.2	屋				(25*12)	S47.8
	給		313	S61.10	35		S52.3					・(60㎡)	
	計		2,505		35	474		3,014	4,082	10,864	14,946		
北郷小学校	校		1,779	S54.3		(1,126)	S56.3	屋				(25*12)	S48.8
	校		2,802	H1.3								・(10*10)	
	給		255	S54.3				4,836					
	計		4,836			(1,126)		(5,962)	13,005	7,035	20,040		
須走小学校	校		4,168	S62.10		1,557	H24.2	屋				25*17	S63.7
	給		1,091	H10.3								・25*5.2	
	給	167		H27.3									
	計	167	5,259			1,557		6,983	12,375	11,558	23,933		

※屋内運動場（　）は地区児童屋内体育館

※（　）は地区町民プール・印は低学年用

中学校

学校名		校舎等の現状							校地の状況		
		校舎			屋内運動場			合計㎡	運動場㎡	校地敷地その他㎡	合計㎡
		木造㎡	非木造㎡	建設年月	木造㎡	非木造㎡	建設年月				
小山中学校	校		1,755	S49.3		1,479	S57.3	屋			
	校		3,480	H22.11		416	H24.1	格			
	給		708	H9.3							
	計		5,943			1,895		7,838	15,412	7,614	23,026
北郷中学校	校		3,574	H8.12		312	S60.3	格			
	給		546	H8.12		1,497	H23.1	屋			
	計		4,120			1,809		5,929	15,634	23,805	39,439
須走中学校	校		3,995	H17.10		279	S55.3	格			
	校		47	H17.10		1,664	H21.7	屋			
	校		145	H21.7							
	計		4,187			1,943		6,130	9,419	13,206	22,625

こども園

園名		園舎等の現状							園地の状況		
		園舎			屋内運動場			合計㎡	運動場㎡	園地敷地その他㎡	合計㎡
		木造㎡	非木造㎡	建設年月	木造㎡	非木造㎡	建設年月				
すがぬまこども園		2,001		R4.3				2,001	974	7,196	8,170
	計	2,001	－								
きたごうこども園		2,166		H26.3				2,166	3,126	3,861	6,987
	計	2,166	－								
すばしりこども園		1,916		R5.2				1,916	1,744	5,479	7,223
	計	1,916									

7 小学校在籍者数の推移

（各年度5月1日現在）

区分 年度	成美小学校		明倫小学校		足柄小学校		北郷小学校		須走小学校		合　計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
昭和50年	17	574	(1) 13	(4) 369	6	110	12	392	17	566	(1) 65	(4) 2,011
昭和60年	14	513	(1) 12	(4) 320	6	157	16	577	13	460	(1) 61	(4) 2,027
平成７年	12	385	(1) 11	(5) 261	6	128	13	433	14	418	(1) 56	(5) 1,625
平成12年	11	289	(1) 7	(5) 187	6	125	12	419	12	413	(1) 48	(5) 1,433
平成17年	10	261	(1) 7	(2) 177	6	130	12	362	(1) 14	(3) 407	(2) 49	(5) 1,337
平成22年	6	182	(2) 8	(6) 168	6	119	(1) 11	(2) 314	(1) 13	(2) 380	(4) 44	(10) 1,163
平成27年	6	165	(2) 8	(3) 147	6	102	(1) 12	(2) 303	(2) 12	(8) 284	(5) 44	(13) 1,001
令和２年	(1) 7	(1) 139	(2) 8	(2) 119	6	85	(2) 14	(4) 351	(2) 10	(4) 219	(7) 45	(11) 913
令和３年	(1) 7	(1) 131	(2) 8	(3) 114	6	65	(2) 14	(11) 352	(2) 10	(5) 223	(7) 45	(20) 885
令和４年	(1) 7	(2) 139	(1) 7	(2) 120	6	68	(2) 14	(10) 361	(2) 10	(7) 228	(6) 44	(21) 916
令和５年	6	129	(1) 7	(2) 129	6	70	(2) 14	(12) 366	(2) 8	(7) 196	(5) 41	(21) 890
令和６年	6	128	(1) 7	(2) 122	6	75	(3) 15	(14) 352	(2) 9	(5) 186	(6) 43	(21) 863
令和７年	(2) 8	(2) 132	(2) 8	(3) 115	6	76	(3) 15	(17) 342	(2) 8	(9) 162	(9) 45	(31) 827
令和８年	(2) 8	(2) 129	(2) 8	(3) 108	6	71	(3) 15	(13) 327	(2) 8	(9) 170	(9) 45	(27) 805

（ ）は特別支援学級・児童数、内数

8 中学校在籍者数の推移

（各年度5月1日現在）

区分 年度	小山中学校		北郷中学校		須走中学校		合　計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
昭和50年	(1)	(11)					(1)	(11)
	16	585	6	193	6	201	28	979
昭和60年	(1)	(6)					(1)	(6)
	15	571	8	296	6	173	29	1,040
平成7年	(1)	(2)					(1)	(2)
	13	447	8	252	3	114	24	813
平成12年	(1)	(2)					(1)	(2)
	13	413	6	197	5	145	24	755
平成17年	(1)	(1)			(1)	(2)	(2)	(3)
	10	286	7	223	6	135	23	644
平成22年	(2)	(4)	(1)	(3)	(1)	(3)	(4)	(10)
	11	280	7	183	5	127	23	590
平成27年	(2)	(6)	(1)	(2)	(1)	(3)	(4)	(11)
	9	214	6	158	4	110	19	482
令和２年	(2)	(4)	(1)	(1)	(2)	(6)	(5)	(11)
	8	199	7	146	5	80	20	425
令和３年	(2)	(4)			(2)	(6)	(4)	(10)
	8	205	6	144	6	89	20	438
令和４年	(2)	(5)	(1)	(3)	(2)	(5)	(5)	(13)
	9	182	7	161	6	95	22	438
令和５年	(2)	(6)	(1)	(3)	(2)	(6)	(5)	(15)
	9	165	7	163	6	107	22	435
令和６年	(1)	(6)	(1)	(3)	(1)	(4)	(3)	(13)
	7	148	7	161	5	95	19	404
令和７年	(2)	(5)			(1)	(4)	(3)	(9)
	8	149	6	158	5	101	19	408
令和８年	(2)	(2)	(2)	(4)	(2)	(4)	(6)	(10)
	8	149	8	182	5	83	21	414

（ ）は特別支援学級・児童数、内数

9 幼稚園在園者数の推移

（各年度5月1日現在）

区分	小山幼稚園				駿河幼稚園				足柄幼稚園			
年度	３歳児	４歳児	５歳児	計	３歳児	４歳児	５歳児	計	３歳児	４歳児	５歳児	計
昭和50年	－	33	35	68	－	45	35	80	－	32	23	55
昭和60年	－	33	33	66	－	15	16	31	－	17	20	37
平成７年	－	25	27	52	－	20	19	39	－	12	18	30
平成12年	－	25	41	66	17	16	26	59	－	19	17	36
平成17年	－	13	17	30	15	13	10	38	10	14	12	36
平成22年	－	－	－	－	駿河小山幼稚園				12	11	7	30
	－	－	－	－	19	12	20	51				
平成27年	－	－	－	－	17	17	13	47	8	10	9	27
令和元年度	－	－	－	－	16	11	12	39		3	3	6

区分	北郷幼稚園				須走幼稚園				合　計			
年度	３歳児	４歳児	５歳児	計	３歳児	４歳児	５歳児	計	３歳児	４歳児	５歳児	計
昭和50年	－	56	47	103	－	81	55	136	－	247	195	442
昭和60年	－	32	45	77	－	56	47	103	－	153	161	314
平成７年	40	44	33	117	－	68	64	132	40	169	161	370
平成12年	45	40	33	118	－	56	49	105	62	156	166	384
平成17年	30	18	34	82	58	56	71	185	113	114	144	371
平成22年	22	26	24	72	47	59	46	152	100	108	97	305
平成27年	－	－	－	－	30	46	29	105	55	73	51	179
令和元年度	－	－	－	－	24	35	25	84	40	49	40	129

※平成22年4月1日：小山幼稚園と駿河幼稚園の統合により駿河小山幼稚園として開園。

※平成26年3月31日：北郷幼稚園廃止。平成26年4月1日：きたごう保育園と統合によりきたごうこども園開園。

※令和2年3月31日：足柄幼稚園廃園。

令和2年4月1日：幼稚園・保育園統合により町立こども園として開園。

駿河小山幼稚園・いきど保育園→するがおやまこども園

すがぬま保育園→すがぬまこども園

須走幼稚園・すばしり保育園→すばしりこども園

10 保育園・こども園在園者数の推移

（各年度4月1日現在）

区分	（旧）藤曲保育園							いきど保育園						
年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	12			20	30	28	90	14			23	33	18	88
昭和60年	8			27	30	25	90	1	12		26	29	31	99
平成７年	2			5	9	14	30	1	6		15	16	18	56
平成12年								0	5	11	20	14	20	70
平成17年								3	7	6	20	11	17	64
平成22年								0	5	13	11	13	12	54
平成27年								0	10	8	13	13	8	52
								するがおやまこども園						
令和2年								1	7	9	12	29	20	78
令和3年								1	6	10	15	17	29	78
令和4年								1	5	5	13	13	18	55
令和5年								1	1	3	4	11	12	32
令和6年								0	4	1	5	1	11	22
令和7年														

区分	すがぬま保育園							すばしり保育園						
年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	14			38	31	27	110	7			30	29	23	89
昭和60年	11			27	30	42	110	16			30	23	28	97
平成７年	4	15		12	9	12	52	7			14	10	24	55
平成12年	2	8	12	14	15	15	66	4	10	9	10	22	17	72
平成17年	2	12	15	19	20	16	84	3	15	17	15	27	5	82
平成22年	5	6	18	22	25	21	97	5	13	16	12	15	12	73
平成27年	1	12	15	16	12	15	71	5	6	13	12	21	21	78
	すがぬまこども園							すばしりこども園						
令和2年	3	8	11	14	20	12	68	4	12	16	35	34	50	151
令和3年	2	7	11	14	15	20	69	4	15	16	40	33	39	147
令和4年	2	7	13	20	18	18	78	5	11	14	26	32	32	120
令和5年	2	8	11	16	21	19	77	1	12	15	25	24	27	104
令和6年	3	11	12	20	20	21	87	1	7	15	18	22	20	83
令和7年	3	12	17	13	25	20	90	4	10	12	21	20	22	89
令和8年	4	11	17	18	15	26	91	5	7	11	19	22	14	78

区分	きたごう保育園							合　計						
年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
昭和50年	17			40	25	26	108	64			151	148	122	485
昭和60年	11			35	46	50	142	59			145	158	176	538
平成７年	13			16	20	31	80	48			62	64	99	273
平成12年	2	4	11	21	27	20	85	8	27	43	65	78	72	293
平成17年	2	7	10	30	21	22	92	10	41	48	84	79	60	322
平成22年	7	13	12	27	23	18	100	17	37	59	72	76	63	324
	きたごうこども園													
平成27年	5	17	20	56	47	49	194	11	45	56	97	93	93	395
令和2年	6	17	19	50	55	55	202	14	44	55	111	138	137	499
令和3年	6	11	18	30	47	56	168	13	39	55	99	112	144	462
令和4年	4	12	12	27	29	48	132	11	40	49	96	94	136	426
令和5年	4	12	17	29	29	31	122	8	33	46	74	85	89	335
令和6年	5	11	17	27	33	32	125	9	33	45	70	76	84	317
令和7年	4	15	17	26	26	39	127	11	37	46	60	71	81	306
令和8年	4	9	19	23	27	27	109	13	27	47	60	64	67	278

※平成9年3月31日：藤曲保育園廃止。
※平成26年3月31日：きたごう保育園廃止。平成26年4月1日：北郷幼稚園と統合によりきたごうこども園開園。
※令和2年3月31日：足柄幼稚園廃園。
　令和2年4月1日：幼稚園・保育園統合により町立こども園として開園。
　駿河小山幼稚園・いきど保育園→するがおやまこども園
　すがぬま保育園→すがぬまこども園
　須走幼稚園・すばしり保育園→すばしりこども園
※令和7年3月：するがおやまこども園廃園

11 教職員の構成

令和8年5月1日現在（単位：人）

区分	小学校			中学校			合計		
職名	男	女	計	男	女	計	男	女	計
校長	4	1	5	2	1	3	6	2	8
教頭	4	1	5	1	2	3	5	3	8
教諭	20	(2) 32	(2) 52	20	14	34	40	(2) 46	(2) 86
養護教諭 （欠員補充含む）		(1) 5	(1) 5		(1) 3	(1) 3		(2) 8	(2) 8
任期付・臨時教諭		6	6	2	2	4	2	8	10
栄養教諭		1	1		1	1		2	2
事務職員 （欠員補充含む）	(1) 2	(3) 3	(4) 5		(1) 4	(1) 4	(1) 2	(4) 7	(5) 9
県非常勤講師 （会計年度任用職員）	2	11	13	4	5	9	6	16	22
スクール・カウンセラー （非常勤）	中学校区に1名配置			2	1	3	2	1	3
合計	32	60	(7) 92	31	(2) 33	(2) 64	(1) 63	(8) 93	(9) 156
町単独講師	2	3	5	1	2	3	3	5	8
町非常勤講師 （支援員）	3	19	22	1	5	6	4	24	28
町臨時職員 （事務・用務・給食員・ALT等）	1	33	34	1	20	21	2	53	55

（ ）は産休・育休等職員、内数

12 中学校卒業後の進路

学校名 区分 年度	小山中学校				北郷中学校				須走中学校				合　計				
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計	
H24年度	103			103	53			53	36	1		37	192	1	0	193	
	100			100	100			100	97.3	2.7		100	99.5	0.5	0	100	%
H25年度	93			93	61			61	46	1		47	200	1	0	201	
	100			100	100			100	97.9	2.1		100	99.6	0.4	0	100	%
H26年度	76			76	51			51	28	1		29	155	1	0	156	
	100			100	100			100	96.5	3.5		100	99.4	0.6	0	100	%
H27年度	76	1		77	40	1		41	40			40	156	2	0	158	
	98.7	1.3		100	97.6	2.4		100	100			100	98.8	1.2	0	100	%
H29年度	66			66	48		1	49	29			29	143	0	1	144	
	100			100	98		2	100	100			100	99.4	0	0.6	100	%
H30年度	77		1	78	38			38	27			27	142	0	1	143	
	98.7		1.3	100	100			100	100			100	99.4	0	0.6	100	%
R元年度	62			62	40			40	25			25	127	0	0	127	
	100			100	100			100	100			100	100	0	0	100	%
R２年度	67			67	60			60	26			26	153	0	0	153	
	100			100	100			100	100			100	100	0	0	100	%
R３年度	70			70	41			41	21			21	132	0	0	132	
	100			100	100			100	100			100	100	0	0	100	%
R４年度	63			63	45		1	46	29			29	137	0	1	138	
	100			100	97.8		2.2	100	100			100	99.3	0	0.7	100	%
R５年度	70	1	1	72	59		1	60	34			34	163	1	2	166	
	97	1.5	1.5	100	98.3		1.7	100	100			100	98.2	0.6	1.2	100	%
R６年度	46		2	48	56			56	24			24	126	0	2	128	
	95.8		4.2	100	100			100	100			100	98.5	0	1.5	100	%
R７年度	44		2	46	45			45	47			47	136	0	2	138	
	95.7		4.3	100	100			100	100			100	98.6	0	1.4	100	%

13 今後５か年の就学児童推定表

	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
成美小学校	131	123	115	110	96
明倫小学校	107	97	88	82	74
足柄小学校	74	69	63	59	47
北郷小学校	297	276	255	238	244
須走小学校	160	154	144	139	148
合　　計	769	719	665	628	609

「令和８年度以降の児童数等調査より」

14 就学奨励援助

教育の機会均等を確保するため、要保護及び準要保護者に対し、就学援助関係法令に基づいて、教育委員会が援助費を支援しています。さらに、特別支援学級への就学の特殊事情を鑑み、就学に係る保護者の経済的負担を軽減すると共に、特別支援教育の振興のために奨励費を支給しています。

(1) 令和8年度要保護及び準要保護児童・生徒数

令和8年5月1日現在

学校名	児童生徒総数	要保護	準要保護	計	援助率
成美小学校	129 人	人	2 人	2 人	1.55 %
明倫小学校	108	1	5	6	5.55
足柄小学校	71			0	0.00
北郷小学校	327	1	4	5	1.52
須走小学校	170		6	6	3.52
小学校計	805	2	17	19	2.36
小山中学校	149	1	6	7	4.69
北郷中学校	182		6	6	3.29
須走中学校	83		5	5	6.02
中学校計	414	1	17	18	4.34
区域外通学者					－

(2) 令和7年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費実績

（単位：円）

校種別		小学校		中学校	
区分		支給人数	金額	支給人数	金額
学用品費 通学用品費 校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	第1学年	2	24,860	3	72,292
	その他の学年	17	244,418	12	309,240
	計	19	269,278	21	381,532
校外活動費（宿泊を伴うもの）		2	4,365	3	18,630
新入学児童生徒学用品費 等		5	285,300		
新入学児童生徒学用品費（小6）				6	378,000
修学旅行費		5	130,773	4	252,000
医療費					
学校給食費					
合計			689,716		1,030,162

(3) 令和8年度特別支援学級在籍者数

令和8年5月1日現在

学校名	在籍者	学校名	在籍者
成美小学校	2 人	小山中学校	2 人
明倫小学校	3	北郷中学校	4
足柄小学校		須走中学校	4
北郷小学校	13		
須走小学校	9		
小学校計	27	中学校計	10

（4）令和7年度特別支援教育就学奨励費実績

（単位：円）

区　分			支給人数	金　　額		支給人数	金　　額
学　校　給　食　費		小学校			中学校		
交　通　費	通学費		0	0		1	20,900
	職場実習・交流学習費		22	3,750		1	100
修　学　旅　行　費			7	72,364		1	23,193
校外活動費	宿泊なし		21	12,835		0	0
	宿泊あり		3	4,931		0	0
新入学児童生徒学用品費等			2	57,060		1	31,500
学用品等購入費	新入学年		2	11,640		1	6,207
	その他学年		20	110,594		2	12,350
合　　計				273,174			94,250

15 育英奨学資金

教育委員会では、昭和38年度に「小山町育英奨学資金貸付基金の設置、管理及び処分に関する条例」を制定し、将来の有望な人材を育成することを目的として、優良な生徒で経済的理由によって修学が困難な学生に毎年、学資を貸与しています。現在の貸与金額は、大学生が月額30,000円、高校生が12,000円で卒業後1年間据え置き、2年目から元金のみを3年から5年以内で返還していただいています。

年度	年度当初育英奨学資金原資	新規採用者		貸付者数		貸与金額（決算）	償還状況		年度末貸与金額総額	当該年度末償還修了者	
		高校	大学	高校	大学		人数	金　額		高校	大学
	円	人	人	人	人	円	人	円	円	人	人
18	27,297,359			1	16	1,800,000	10	2,284,000	12,116,000		
19	27,407,409			3	16	2,880,000	9	2,270,000	12,726,000		3
20	27,454,357			1	14	2,880,000	5	1,296,000	14,310,000		3
21	27,510,256			4	16	3,240,000	4	1,152,000	16,398,000		1
22	27,539,662		1	3	18	3,744,000	7	2,300,000	17,842,000		6
23	27,550,006	1	4	2	8	2,988,000	7	2,588,000	18,242,000		
24	27,555,171	1	7	3	15	5,652,000	10	3,404,000	20,490,000	3	3
25	27,559,018	1	2	2	13	4,968,000	10	3,288,000	22,170,000		4
26	27,561,295	1	3	2	13	4,692,000	13	3,161,000	23,701,000	1	3
27	28,607,603		3	1	13	4,824,000	13	2,744,000	25,781,000		6
28	28,607,664		5	1	12	4,464,000	14	3,364,000	26,881,000	1	2
29	28,607,725		3		13	4,680,000	15	4,226,000	27,335,000		4
30	28,607,759		1		10	3,570,000	16	5,863,000	25,042,000		4
元	28,607,790		3		9	3,240,000	13	3,517,000	24,765,000		3
2	28,607,821				6	2,160,000	16	4,224,000	22,701,000		1
3	28,607,897		1		4	1,440,000	17	4,692,000	19,449,000		1
4	28,608,003				2	720,000	16	4,332,000	15,837,000		1
5	28,608,145		2		3	1,080,000	14	4,800,000	12,117,000		4
6	28,617,689		2		5	1,800,000	11	3,134,000	10,783,000		4
7	28,650,454		1		5	1,800,000	6	1,805,000	10,778,000		4

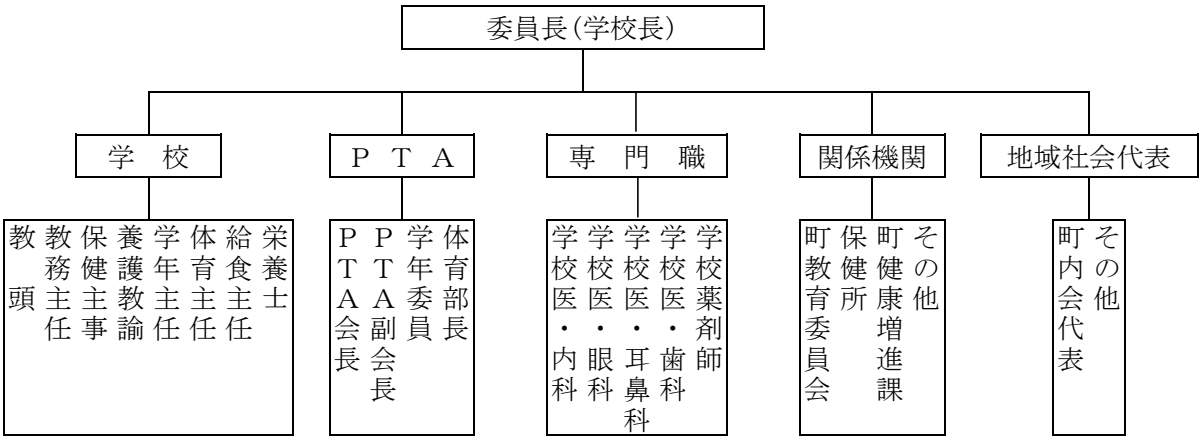
16 学校保健

こどもたちの健康保持と増進のため、内科検診をはじめとした各種の健康診断を実施しています。また、各学校ごとに学校保健安全委員会を組織し、保健計画に基づいた安全対策と健康増進を図っています。さらに、平成18年度から学校専門相談医制度を導入し、専門的技術指導の充実及び推進に努めています。

(1) 町の保健事業計画

① 定期健康診断
② 尿検査（対象：小・中・園全員）
③ 心電図(心臓)検診（対象：小1・中1）
④ 脊柱側わん症検診
⑤ 運動器検診
⑥ 結核健康診断
⑦ 就学時健康診断
⑧ 就園時健康診断
⑨ 教職員健康診断

(2) 学校保健安全委員会組織図



(3) 校医・校歯科医・校薬剤師一覧(令和8年度)

令和8年4月1日現在

園名・学校名	内　　科	眼　　科	耳 鼻 科	歯　　科	薬 剤 師
成美小学校	岩田　祥吾	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	小野　將之	神成　拓麿
明倫小学校	中川　靖夫	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	大木　長生	神成　拓麿
足柄小学校	中川　靖夫	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	小野　義晃	芹澤　一男
北郷小学校	友成　正明	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	小野　義晃	神成　拓麿
須走小学校	田内　守之	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	斉藤　康裕	田嶋　ゆかり
小山中学校	岩田　祥吾	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	小野　將之	芹澤　一男
北郷中学校	岩田　祥吾	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	鈴木　徳夫	芹澤　一男
須走中学校	田内　守之	六鹿　秀夫	齋藤　彰治	斉藤　康裕	田嶋　ゆかり
すがぬまこども園	岩田　祥吾			小野　義晃	芹澤　一男
きたごうこども園	中川　靖夫			村井　恵太	芹澤　一男
すばしりこども園	田内　守之			斉藤　康裕	田嶋　ゆかり

（4）児童・生徒の体格

（令和７年度）

区　分			小学校						中学校		
			1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年	1　年	2　年	3　年
男子	身長 cm	町	115.3	121.1	● 128.2	133.3	138.7	● 145.9	153.5	160.0	● 166.0
		県	116.4	122.2	128.0	133.7	138.8	145.4	153.5	160.7	165.7
		全国	116.7	122.6	128.5	134.0	139.7	146.0	154.0	161.1	166.1
	体重 kg	町	20.8	● 23.8	● 27.4	◎ 31.4	◎ 36.1	◎ 40.6	44.5	◎ 50.6	● 54.9
		県	21.1	23.7	27.2	30.9	34.1	39.5	44.5	49.7	53.5
		全国	21.4	24.2	27.6	31.2	35.2	39.6	45.3	50.5	55.0
女子	身長 cm	町	115.3	120.8	126.6	◎ 134.7	139.9	147.2	◎ 152.7	153.3	◎ 156.8
		県	115.5	121.3	127.4	133.7	140.4	147.6	151.7	154.9	156.0
		全国	115.8	121.8	127.7	134.1	141.1	147.8	152.3	155.0	156.4
	体重 kg	町	● 20.9	● 23.6	25.9	◎ 31.0	● 34.4	● 39.8	◎ 45.6	46.2	◎ 50.6
		県	20.8	23.3	26.6	30.0	34.2	39.7	43.8	47.3	49.1
		全国	21.0	23.7	26.9	30.5	35.0	40.1	44.4	47.5	49.6

県平均及び全国平均は、令和６年度文部科学省学校保健統計調査値。

○は全国平均を上回る。●は県平均を上回る。◎は全国平均・県平均を上回る。

17 日本スポーツ振興センター

(1) 月別災害発生件数

(令和７年度)

区分	在籍数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	被災率
成美小	129			1			1			1	2			5	3.9%
明倫小	108						1				1			2	1.9%
足柄小	71													0	0.0%
北郷小	327	1	1	1			2		1	5	1		1	13	4.0%
須走小	170						3				1			4	2.4%
計	805	1	1	2	0	0	7	0	1	6	5	0	1	24	3.0%
小山中	149		1					2	1	1	2	1		8	5.4%
北郷中	182	1						1	1	2	1		1	7	3.8%
須走中	83		1		2		1	3					1	8	9.6%
計	414	1	2	0	2	0	1	6	2	3	3	1	2	23	5.6%
こども園	305	3	0	3	1	1	0	0	0	1	1	1	1	12	3.9%
合計	1,524	5	3	5	3	1	8	6	3	10	9	2	4	59	3.9%

(2) 学年別災害発生件数

(令和７年度)

校種	学年別	在籍数	件数	発生率
小学校	1	120	3	2.5%
	2	119	3	2.5%
	3	129	3	2.3%
	4	138	7	5.1%
	5	157	4	2.5%
	6	142	4	2.8%
中学校	1	136	6	4.4%
	2	133	9	6.8%
	3	145	8	5.5%
こども園		305	12	3.9%

(3) 負傷別･疾病件数

(令和７年度)

種類	小	中	こ	合計
骨折	7	8		15
捻挫	5	4		9
脱臼	3		3	6
挫傷・打撲	5	7	1	13
靭帯損傷・断裂	1	2		3
挫創			5	5
切創		1		1
刺創			1	1
割創				0
裂創				0
擦過傷	2			2
熱傷・火傷				0
歯牙破折			2	2
その他				0
負　　傷	23	22	12	57
疾　　病	1	1	0	2
計	24	23	12	59

18 学校給食

（1）経過

小山町の学校給食は、昭和21年に粉乳給食を開始した。さらに子供たちの体位向上を求めて完全給食の実施を望む声があり、昭和30年11月に須走小学校、昭和37年4月成美小学校･明倫小学校・足柄小学校に、同年5月北郷小学校に町内5つの小学校で、単独校方式の完全給食を開始した。

・昭和59年9月：成美小に当町初のドライシステム方式を採用。

・昭和60年9月：明倫小にドライシステム方式を採用。

・昭和61年10月：足柄小ドライシステム方式を採用し食堂型の給食棟とする。

平成9年2月から北郷中学校で、平成9年4月から小山中学校で、食堂を備えた単独校方式による完全給食を開始した。続いて、須走中も平成10年4月から須走小・中学校共同の食堂を備えた給食施設での完全給食を開始した。

（2）給食費

平成31年4月より子育て支援の充実を図ることを目的に、学校給食費の無償化を開始した。

給食費相当額

区　　分	小　学　校	中　学　校
給食費（1人1か月当たり）	5,580 円	6,525 円
給　食　回　数（年間）	186 回	184 回
単　　価（1食当たり）	330 円	390 円

ランチルームでの給食

19 放課後子ども教室一覧

（1）放課後子ども教室

（令和8年4月1日現在）

教室名	開設年度	所在地	在籍人数						
			1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
須走小学校 放課後子ども教室	H27	須走70-18	10人	9人	10人	2人	5人	2人	38人

※成美小学校、明倫小学校、足柄小学校、北郷小学校の各放課後子ども教室は、令和8年度休校。

放課後子ども教室での活動の様子

Ⅳ 社会教育

1 社会教育委員

社会教育委員は「社会教育法」第15条に基づき教育委員会が委嘱している。

職務は、社会教育に関する諸計画の立案、教育委員会から諮問された事項に対しての意見具申及びこれらの客観的判断をするための調査・研究などがある。

「小山町社会教育委員条例」では、定数を15人以内、任期を2年と定めている。

任期：　令和10年3月31日

役　　職	氏　　名	所　　属
委　員　長	湯山　久	学識経験者
副 委 員 長	湯山　薫	学識経験者
委　員	齊藤　浩二	小山町校長会（小学校長代表）
〃	持田　晃寿	小山町校長会（中学校長代表）
〃	小野　一彦	小山町社会福祉協議会
〃	小林　裕之	陸上自衛隊富士学校
〃	常盤　久美子	小山町文化連盟
〃	臼井　秀治	小山町スポーツ協会
〃	岡部　隆枝	小山町立図書館ボランティア
〃	榑林　一美	小山町文化財保護審議会
〃	松井　祥悟	小山町PTA連合会
〃	相原　正和	小山町子ども育成連合会
〃	濵田　敏彦	ボーイスカウト代表
〃	岩田　進	小山町シニアクラブ

2 生涯学習

科学技術の進歩や情報化、国際化、超高齢化社会になっている中で、一人ひとりが知識や技術を伸ばし、趣味、レクリエーションなどを楽しみ、生きがいのある充実した人生を送るため、自発的意志に基づく生涯にわたっての学習が重視されている。

このため、町民の学習に対する支援を進めるとともに、生涯学習の観点から、社会教育の推進を図っていく。

(1) 生涯学習推進委員会委員

小山町の生涯学習を推進するため、小山町教育振興基本計画に基づき設置しており、委員は社会教育委員が兼務している。

(2) 生涯学習課施設関係

① 総合文化会館

所在地	：	小山町阿多野130
敷地面積	：	27,213.24 ㎡（体育館を含む）
建物面積	：	5,627.35 ㎡
延床面積	：	7,835.48 ㎡
金太郎ホール	：	996席　車椅子6席/母子11席
開設	：	平成4年2月
電話番号	：	76-5700

総合文化会館は、平成4年に開館して以来、文化芸術事業や各種教室等の開催をはじめ、快適な施設運営とさらなる内容の充実を図るなど、町民の生涯学習拠点づくりを推進している。

平成27年度から指定管理者による管理・運営を行っており、令和8年4月より「小山町ライフデザインパートナーズ」が指定管理者として管理運営している。

② 体育施設

総合体育館・小山球場・多目的広場・弓道場・小山道場・夜間照明施設の体育施設も同様に、平成27年度から指定管理者による管理・運営を行っており、令和8年4月より「小山町ライフデザインパートナーズ」が指定管理者として管理運営している。また町スポーツ協会等との連携により、各種教室や大会等を開催しスポーツ活動の推進と健康増進に努めている。パークゴルフ場については、令和2年度から指定管理者が管理運営している。

③ 事業PR

生涯学習事業のPR、生涯学習施設の利用促進につなげていくために、広報おやまや町ホームページ等に随時掲載している。

④ 施設利用の利便性の充実のための職員対応

指定管理者による管理運営を行い、民間のノウハウを導入した利用者へのサービスを提供している。令和８年度から３期目がスタートし、パークゴルフ場を含めた適切な管理運営が行われている。

施設利用の利便性の充実を図るため、文化会館等運営協議会を開催し、各種団体から意見聴取を行うとともに毎月１回指定管理連絡調整会議を開催し、問題点の抽出や課題解決に向けた協議を行っている。

(3) 生涯学習推進事業

① 生涯学習推進講演会開催

隔年開催のため令和９年度に向けた講師選定等の準備を行う。

② 生涯学習フェスティバル

・ と　き ： 令和９年２月27日（土）
・ ところ ： 総合文化会館
・ 内　容 ： 令和８年度の生涯学習活動の総括を行う場として体験、展示等を行う。

(4) 成人教育

① 家庭教育学級の開設と支援

こども園、小学校、中学校PTA会員を対象に開設し、家庭教育の充実を図るとともに、子どもの健全育成を進める。

・ 回数等 ： 年間8～10回　1回2時間程度
・ 学　級 ： こども園3学級　小学校5学級　中学校3学級　計11学級

※ 学習目標、プログラム等は学級運営委員会で企画、実行する。
※ プログラム内容は、「親と子のかかわり」や「親の姿勢」を中心課題とする。

② 社会教育団体、グループ活動を支援

町内の社会教育団体の活動を支援し、自主的な学習活動と地域活動の推進を図ることで連帯感のある地域づくりを進める。

③ 男女共同参画の推進

令和９年４月を始期とする第６次小山町男女共同参画社会づくり行動計画を策定し、将来像及び基本目標を設定して町における男女共同推進施策の充実を図る。

講演会を定期的に開催し、町民の男女共同参画に関する理解促進を進めていく。

(5) 青少年教育

① 青年団体との連携

須走青年の会等における青年活動の活性化と地域活動への参加を促進する。

・ 内　容 ： 障害者施設行事支援・宿泊研修・スポーツ大会の運営支援等

② はたちの集いの実施（旧成人式）

・ と　き ： 令和９年１月10日（日） 10：00～11：30
・ ところ ： 総合文化会館　金太郎ホール
・ 内　容 ： 式典等
・ 20歳の方には、はたちの集いとして、式典を実施。
・ 18歳の新成人には、お祝いの品として記念品を送付する。

③ 青少年問題協議会の開催

関係機関、団体相互の連絡調整機関としての働きを基盤に、青少年の健全育成と青少年の諸問題を協議する。

・ と　き ： 令和８年６月23日（火） 14：30～15：00
・ ところ ： 総合文化会館　菜の花ホール
・ 内　容 ： 各種団体から青少年の実情を発表し、問題提起と情報共有等を行う。

④ 青少年健全育成の推進

健やかな青少年の育成をめざして、地域住民の意識の高揚と、活動を活性化させるための事業を推進する。

・ 内　容 ： 青少年補導の実施（町内全域を年２回及び夏祭り時に実施）
中学生ボランティア・中学生職場体験

⑤ 青少年補導員活動の推進

青少年健全育成のための補導活動と、関係機関団体との連絡をとり、住みよい環境づくりを進める。

・ 内　容 ： 補導員会議開催・夏祭り巡回・県内一斉補導を年２回実施・声かけ運動への参加

⑥ ふるさと金太郎博士事業の推進

地域行事への参加、企業見学等、地域と関わる活動を通じて、ふるさとを愛する心を育て、地域の将来を担う人材の育成を目指す。

・ 内　容 ： 小学校3年生から中学校3年生を対象に、児童生徒が自主的に地域と関わる活動を応援する事業で、活動をポイントで評価し、ポイントの合計に応じて「ふるさと金太郎博士」等に認定する。
・ 実　績 ： 令和7年度認定数　銅賞38人、銀賞20人、金賞1人、博士号1人、名誉博士号1人

⑦ 金太郎教室（適応教室）

学校に行きにくい子ども達を受け入れる教室として、社会教育指導員が対応している。

⑧ 地域学校協働活動の推進

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進していく。

・ 内　容 ： 生涯学習課内に「地域学校協働本部」を置き、地域諸団体とのネットワークを形成し、地域と学校を結ぶ活動（学校応援ボランティア、中学生ボランティア、職場体験学習など）を推進していく。

（6）青少年問題協議会委員

任期： 令和9年3月31日

役　職	氏　名	所　属
会　長	込山　正秀	小山町長
副会長	鈴木　豊	議会議長
副会長	勝俣　純	教育長
委　員	渡辺　悦郎	議会文教厚生委員長
〃	室伏　博行	副町長
〃	湯山　久	社会教育委員長
〃	新井　昇	小山町区長会長
〃	小林　裕之	陸上自衛隊富士学校総務課長
〃	佐々木　康広	御殿場警察署長
〃	渥美　聡孝	御殿場警察署小山交番長
〃	品川　秀一	小山町立明倫小学校　校長
〃	滝口　宜男	小山町立須走中学校　校長
〃	櫻井　教文	小山高等学校長
〃	山本　孝信	民生委員・児童委員会長
〃	遠藤　幸一	保護司（小山支部長）
〃	秋田　敬	小山町商工会長
〃	髙杉　幸弘	青少年補導員代表
〃	松井　祥悟	小山町PTA連合会長
〃	岩田　洋輔	小山町子ども会育成連合会長
〃	土屋　八雲	須走青年の会会長

（7）青少年補導員

任期：　令和9年3月31日

役　職	氏　名	役　職	氏　名
補導員代表	髙杉　幸弘	補導員	江本　康治
補　導　員	岩田　慈史	〃	齊藤　浩二
〃	降幡　元紀	〃	石塚　皓生
〃	鈴木　雄祐	〃	瀬田　宏
〃	勝又　亮介	〃	夕田　優美
〃	中島　覚	〃	石川　清美
〃	武藤　浩		

3 芸術文化

(1)「文化芸術の薫るまち　おやま」の実現

文化芸術振興条例に基づき策定した文化芸術振興基本計画の施策の推進を図る。
社会教育委員会において、施策の進捗管理や新たな提案等の協議を行う。

(2) 趣味の教室・講座の開設

誰でも楽しめるテーマで講座を開設し、町民が気軽に参加できる機会を提供する。

① 町民講座

令和８年８月９日(日)「第３回すばしりサイエンスカフェ」
令和８年11月28日(土)「須走発掘調査現地説明会」

② ふるさと発見講座

令和８年７月３０日(水)「新東名高速道路見学」
令和８年８月３日(月)「子どものための浴衣講座と文化財見学」
令和８年８月３日(月)「星空探訪」　※曇天のため、秋季に延期
令和８年11月８日(日)「阿多野用水探検」

③ 展示事業

寄贈された史料の展示・公開
令和８年８月１日(土)～16日(日)、10月１日(木)～12日(火)「勝又洋コレクション展」

(3) 児童対象事業の実施

子供たちに豊かな遊びを与え、健康を維持し、情操を豊かにするため、児童の健全な育成と福祉の向上を推進する。

月	事　業　名	月	事　業　名
通年	おやまアスリートクラブ	12	町子連「絵のコンテスト」表彰式
8	わくわく科学教室①	2	生涯学習フェスティバル
8	わくわく科学教室②		

(4) 町民文化祭の開催

文化活動の成果発表の機会として実行委員会を設け文化祭を開催する。

・　と　き　：令和８年10月17日（土）・18日（日）
・　ところ　：総合文化会館
・　内容　：・第70回文化展
　　文芸・華道・書道・絵画・陶芸・盆栽・山草・写真・手芸・茶道・囲碁
　　町内小中学校・小山高校・一般
　　・第44回舞踊祭
　　・第28回民踊祭
　　・第21回ダンスフェスタ
　　・第51回音楽祭【合唱】【邦楽・器楽】
　　・第28回歌謡祭

令和８年度実施の町民文化祭が70回目を迎えることを記念し、小山町民文化祭70回記念事業を実施。
・　令和８年５月16日(土)「森村献氏ピアノコンサート」
・　令和８年10月31日(土)「オペラハイライト及び長田真澄スペシャルコンサート」

(5) 町民文芸誌の発行

文芸誌「駿河路」第96号を発行する。
・　内　容　：創作・紀行文・随筆・詩・俳句・短歌・川柳・小中学生の作文、詩、俳句等

（6）第48回駿河路のつどい開催

短歌、俳句、川柳を同一会場で開催し、文芸に親しむ愛好者の拡大を図る。

・ と　き ： 令和８年１０月２７日（火）

・ ところ ： 総合文化会館　菜の花ホール

4 文化財保護

（1）文化財保存活用地域計画の推進

指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財にも焦点を当て保存・継承していくとともに、観光や地域学習の観点からも文化財を積極的に活用していくことを目的に「小山町文化財保存活用地域計画」を策定し、令和５年12月に文化庁の認定を受け、令和６年４月１日から施行している。

（2）指定･登録文化財の保存と活用

町内の国指定文化財２件、国登録有形文化財８件、県指定文化財５件、町指定文化財17件の保護に努める。

また、国登録有形文化財である「森村橋」や「豊門会館」、「西洋館」では、町内外の来場者に「しずおか遺産」である「小山殖産興業遺産」を学習する機会を提供している。

加えて、足柄城跡国史跡指定に向け、足柄城跡に係る総合調査を令和７年度より数箇年かけて実施する。なお、本年度は測量調査（公図等の転写・公図等転写連続図作成）

小山町文化財保護審議会を中心に、文化財調査だけでなく、文化財を支える人材育成や効果的な活用等も推進し、文化財の確実な保存を図る。

（3）文化財の発掘

文化財保護審議会委員を中心に埋もれた郷土の文化財を発掘し、後世に残るよう努めるとともに、文化財の価値を町内外へ周知していく。

須走の「日向遺跡」に関し、東京大学と連携を図りながら、埋蔵文化財調査を継続していく。

また、図書館との連携により地域史資料の収集、保存に努める。

（4）郷土芸能の育成支援

郷土芸能である「竹之下太鼓」と「大富士公時太鼓」の活動支援を行う。

（5）文化財保護審議会委員

任期：令和10年３月31日

役　職	氏　　名	地区
委　員　長	榑林　一美	成美
副 委 員 長	石橋　良弘	須走
委　員	池谷　修	成美
〃	大岩　秀久	明倫
〃	高橋　譲	足柄
〃	鈴木　順平	足柄
〃	高梨　俊夫	北郷
〃	池谷　岩夫	北郷
〃	米山　芳子	須走

(6) 町内の文化財

① 国指定文化財

種　　別	名　　称	指定年月日	所　在　地　・　特　徴
特別名勝	富　士　山	S27.11.22	富士山須走口旧馬返しより上方の山体が該当
史跡	富　士　山	H23. 2. 7	富士浅間神社及び須走口五合目以上の登山道が該当

② 国登録文化財

種　　別	名　　称	登録年月日	所　在　地　・　特　徴
建造物	豊門会館(和室)	H17.11.10	藤曲144-8 明治39年建築した和田豊治宅を大正14年に現在地へ移築。木造2階建て、瓦葺、入母屋破風。
建造物	豊門会館(洋館)	H17.11.10	和室と隣接し、和館の南側に位置する。 平屋建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園西洋館	H17.11.10	藤曲142-7 昭和初期に建設。旧豊門青年学校。 木造2階建て、スレート葺き、寄棟造。
建造物	豊門公園正門	H17.11.10	藤曲144-8 大正14年建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げの門柱。
建造物	豊門公園噴水泉	H17.11.10	藤曲142-7 昭和初期に建設。鉄筋コンクリート、モルタル洗い出し仕上げで石積み風に目地を入れている。
建造物	豊門公園和田君遺悳碑	H17.11.10	藤曲144-8 大正14年建設。高さ3mの花崗岩製。 朝倉文夫による独特な意匠。
建造物	森　村　橋	H17.11.10	小山133-6 明治39年建設。鋼製プラットトラス方式。 設計は秋元繁松、製作は東京石川島造船所。
建造物	松村家住宅主屋	H20. 7. 8	須走31 昭和12年登記。木造平屋建て、面積123㎡。屋根は切妻造で土間と食堂、和室が接続。建築は清水組。

③ 県指定文化財

種　　別	名　　称	指定年月日	所　在　地　・　特　徴
彫刻	宝鏡寺の木造地蔵菩薩坐像	S60. 3.19	竹之下1462 像高77.1m・檜材・寄木造・内刳・漆箱・白毫に水晶玉・玉眼嵌入・南北朝期
工芸品	銅製線刻大日如来二尊像懸仏	R8.3.23	阿多野130 径29.1cm、縁厚0.34cm、重量1639ｇ
天然記念物	冨士浅間神社のハルニレ	S38. 2.19	須走126 胸高幹周4.88m・樹高24.0m・根廻6.5m
天然記念物	大胡田天神社のイチョウ	S41. 3.22	大胡田643 胸高幹周7.1m・樹高19.5m・根廻6.9m
天然記念物	柳島八幡神社の二本杉	S42.10.11	柳島168 胸高幹周5.65m・樹高34.6m・根廻6.15m・胸高幹周5.75m・樹高36.8m・根廻6.2m

静岡県指定文化財(工芸品)
「銅製線刻大日如来二尊像懸仏」

④ 町指定文化財

種　　別	名　　称	指定年月日	所　在　地　・　特　徴
建造物	甘露寺宝篋印塔	S48.10.25	菅沼683 応永7年(1400年)徳勝和尚が後生善処のために造立。
建造物	嘉慶銘宝篋印塔	S63.12.16	菅沼1112-2 梅林内に位置する。
建造物	栗の木沢の唯念名号碑	H3. 5. 1	竹之下3676-20 高さ3.8m・横幅1.5m・厚さ0.8m
建造物	栗の木沢の題目碑	H4. 6. 1	竹之下3677-17 高さ3.56m・横幅1.24m　厚さ:中0.42m下0.6m
建造物	富士山東口本宮 冨士浅間神社社殿	H18. 8.24	須走126 享保3年(1718年)に再建された社殿が現存。本殿、幣殿、拝殿が一体化。
史跡	乗光寺大森六代之墓	S48.10.25	生土234-1 大森頼直が正保元年(1644年)に墓石を移転。
無形民俗 文化財	竹之下太鼓	S59.12.21	竹之下区 富士登山する道者の無事を祈ったことに起源を有する。
天然記念物	湯船八幡神社の夫婦スギ	S58. 5. 1	湯船371 大:根廻7.5m・胸高幹周6.5m・樹高34.2m 小:根廻5.7m・胸高幹周4.7m・樹高33.6m・樹齢約250年
天然記念物	冨士浅間神社の エゾヤマザクラ	S58. 5. 1	須走126 根廻2.68m・胸高幹周2.44m・樹高2.68m・樹齢約110年
天然記念物	冨士浅間神社の根上りモミ	H3. 5. 1	須走126 根廻5.48m・胸高幹周3.67m・樹高31m・樹齢約300年
天然記念物	棚頭産神社のスギ	S63.12.16	棚頭714 甲:根廻8.2m・胸高幹周6.4m・樹高34.7m 乙:根廻7.5m・胸高幹周5.7m・樹高33.4m・樹齢約400年
天然記念物	用沢八幡宮の三本スギ	S63.12.16	用沢517 根廻10.2m・胸高幹周:甲3.8m・乙5.1m・丙3.7m 樹高約29.1m・樹齢約300年
彫刻	坂下区十王堂地蔵菩薩坐像	H21.12.16	菅沼707-1 桧・寄木造・漆箔　肉身金泥塗り、玉眼 像高：34.4cm 室町時代後期～江戸時代初期
絵画	坂下区十王堂十王図	H21.12.16	菅沼707-1　紙本著色・紙継ぎなし　表装後補 縦：111.4～112.0cm 横：37.0～37.5cm 文化元年(1804年) 10幅全て、同一人物による作品
書跡･典籍 古文書	坂下区十王堂 木食観正宝号軸	H21.12.16	菅沼707-1　絹本墨書・絹継ぎなし　布表装 作者：木食観正　縦：67.9cm 横：33.8cm 作者が小山町に滞在した文政7年(1824年) 頃
彫刻	坂下区十王堂石仏	H21.12.16	菅沼707-1　17体　丸彫像・一部朱彩色・金泥彩色 像高：25.8～41.8cm 延宝8年(1680年) を遡る江戸時代初期
建造物	藤曲浅間神社の 二宮金次郎墓碑	H27.9.25	藤曲168　1基　高さ：171.2cm、幅：98.1cm、 奥行き：66.5cm　年代：安政４年（1857）11月 墓石の形状は、二宮の「一円融合」の思想を表す

小山町指定文化財
「乗光寺大森六代之墓」

5 小山町埋蔵文化財等地名表

	遺 跡 名	時 代	種 別	所 在 地	地 目	遺 構	遺 物	文 献
1	上野奥の沢遺跡	縄文中期	散布地	上野北山	林・沢		縄文土器	
2	上野堀之内	中世	城館	上野字堀之内	境内	空堀・土塁		
3	湯船遺跡	縄文	散布地	湯船	工場		縄文土器	
4	湯船城	中世	城館	湯船字附野	山林			
5	柳島遺跡	縄文中期	散布地	柳島堀	公民館		縄文土器	
6	湯船堀之内	中世	城館	湯船字下耕地	水田			
7	藤曲屋敷	中世	城館	藤曲字宮原	宅地			
8	生土城	中世	城館	生土字城山	山林	曲輪・空堀・井戸跡		静岡県の中世城館跡
9	御園平遺跡	縄文前～後期	散布地	生土御園平	畑	列石	縄文土器	
10	御園遺跡	縄文中期	散布地	生土御園	宅地		縄文土器・石斧・石棒	静岡県史第１巻
11	用沢堀之内	中世	城館	用沢字坂本	水田			
12	一色城	中世	城館	一色島土	水田・宅地			
13	沼子遺跡	縄文	散布地	柳島字沼子	水田・畑			確認調査報告書
14	中の丸遺跡	古墳・古代	散布地	上古城中の丸	境内		土師器・須恵器	静岡県郷土研究１
15	一色遺跡	縄文	散布地	一色上大畑	水田		縄文土器	
16	岩田館	中世	城館	菅沼字菅沼	宅地			
17	打越館	中世	城館	吉久保字打越	宅地			
18	吉久保遺跡	縄文中期	散布地	吉久保	水田		縄文土器	
19	下古城(古城)	中世	城館	下古城字永塚	水田	土塁		
20	上矢台遺跡	縄文後期	散布地	竹之下上矢台	林・原野		縄文土器	静岡県史
21	竹之下堀之内	中世	城館	竹之下字堀之内	宅地			
22	竹之下屋敷(城ケ腰)	中世	城館	竹之下字城ケ腰	宅地	井戸跡		
23	高畑城(高畑山)	中世	城館	竹之下	山林			
24	大曲遺跡	古墳～平安	散布地	竹之下大野原	宅地			
25	ゼンコージ遺跡	古代	散布地	竹之下善光寺	山林		土器	
26	新見堂遺跡	縄文晩期	散布地	竹之下新見堂	山林		縄文土器・磨製石斧	
27	横山遺跡	古墳後期～中世	集落	竹之下上横山	高校	住居跡・柵列	土師器・須恵器	横山遺跡概報
28	上横山遺跡	奈良・平安	散布地・集落	竹之下上横山	工場		土師器・須恵器・鉄製品	上横山遺跡報告書
29	桑木沢田遺跡	平安	集落	桑木	宅地	住居跡	陶磁器・構築礫	沢田遺跡確認調査報告書
30	古瀧遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
31	クラモンザ遺跡	縄文中期	散布地	竹之下古瀧	山林		縄文土器	
32	新柴堀之内	中世	城館	新柴字堀之内	宅地	井戸跡		
33	ワデ遺跡	縄文後期	散布地	桑木ワデ	田・宅地		縄文土器	
34	向桑木遺跡	縄文中期	散布地	桑木一ノ沢	山林		縄文土器	
35	池の沢遺跡	弥生	散布地	桑木池の沢			弥生土器	
36	八重山屋敷	中世	城館	小山字八重山	宅地			
37	足柄城	中世	城館	竹之下峠	山林	曲輪・空掘・井戸跡・土塁		調査報告書
38	足柄峠Ⅰ遺跡	縄文中期・後期	散布地	竹之下峠	山林		縄文土器	
39	足柄峠Ⅱ遺跡	古墳・古代	散布地	竹之下峠	山林		土師器・須恵器	
40	尾立城	中世	城館	生土	山林	竪土塁		調査報告書
41	南ノ原遺跡	奈良	集落	桑木字上の原	工場	住居跡・土坑	土師器・須恵器・鉄製品	調査報告書
42	日向遺跡	江戸時代	集落	須走	宅地	住居跡・畑跡	鉄製鍋・銅製急須等	
43	富士山	特別名勝、史跡						

6 図書館

所在地　　：小山町阿多野130
建物面積　　：951.23㎡
蔵書数　　：113,056 冊 （R8.3.31現在）
開設　　：平成4年4月
電話番号　　：76-4270

町立図書館は平成４年に開館して以来、町民の生涯学習の拠点として、日々の生活や学習活動の役に立つ図書館を目指すとともに、心豊かな人づくりを支える図書館としての運営に努めている。

平成27年度から指定管理者による管理・運営を行っており、令和８年４月より「小山町ライフデザインパートナーズ」が指定管理者として管理運営している。

（1）資料の収集と整理

・ 図書資料の充実を図るため、年間図書購入計画に基づき、計画的に購入しているほか、寄贈図書の受け入れなども積極的に行っている。

① 新刊本の選書等

・ 各分野のバランスに配慮した蔵書構成を推進している。
・ 利用者ニーズに応えるため、リクエスト本の選書や「選書ツアー」を開催し、新刊本の導入に努めている。

② 郷土資料等の収集と保存管理

・ 官公庁及び各種団体、企業、個人等が発行した郷土資料刊行物の収集と保存をしている。
・ 地域発行新聞を製本保存し、資料の蓄積に努めている。
・ 富士のある町として積極的に富士山資料の収集に努めている。

③ 寄贈本の受け入れ整理

・ 利用者からの寄贈本の受け入れを行う。
・ 分類及び付帯装備と書誌データ入力作業。

④ 視聴覚資料の収集

・ CD・DVD資料の収集及び更新。

⑤ 廃棄図書の選択と整理事務

・ 小山町立図書館図書除籍基準により除籍を行う。
・ ふれあい広場に合わせた古雑誌市の他、リサイクルブックフェアを定期的に開催する。

⑥ 蔵書点検・管理事務

・ 不明、汚破損図書等把握のための点検作業を行い、適切な蔵書管理を行う。

（2）図書館活動・館内サービスの充実

① レファレンス等、利用者へのサービスに努める。

・ リクエストには、購入又は図書館の相互貸借を活用する。＝随時
・ 図書館システムの運用により、館外よりインターネット上で蔵書検索や予約が可能。
　また、館内の利用者用端末（タッチパネル）でも蔵書検索ができる。

② 読書グループ等の育成と援助

・ 図書館ファンクラブを夏休み期間に実施。（定員20名（小学校3～6年生対象））

③ 絵本・紙芝居等の読み聞かせ

・ 館内利用者を対象にお話コーナーを開設。

④ ブックスタートの実施

・ 5～8か月児とその保護者を対象にした“絵本を介しての子育て支援”を月１回実施。

⑤ 移動文庫、団体貸し出し

・ 役場本庁・足柄駅前交流センター・須走支所に移動文庫を設置し、利用サービスに努める。
また、利用頻度を考慮し、須走コミュニティーセンターには移動文庫とは別に「須走文庫」を設けている。
・ 老人ホーム・こども園・学校等への団体貸し出しを奨励する。

⑥ ボランティア活動の育成

・ 図書館活動協力員の募集を行う。
・ 絵本の読み聞かせを実施する。
・ 読み聞かせボランティア養成講座を開催する。

⑦「小山町の図書館」の発行

・ 年１回、図書館の概要を示した小冊子を発行し図書館情報の広報に努める。

⑧ 本のリサイクル市の開催

・ 家庭における不用本のリサイクル市を行ない、町民サービスの向上を図る。

⑨ セカンドブック事業の実施

・ ブックスタート事業のフォローアップとして、町内小学校新入学児童に絵本１冊と読書通帳を贈呈。

⑩ 臨時学習室の開設

・ 夏休み期間中は学習者の利便をはかるため、文化会館の利用状況に応じて、臨時学習室を別室に随時設ける。

⑪ 読書通帳の導入

・ 読書活動の更なる推進のため、読書通帳を導入。

⑫ 図書消毒機の設置

・ 図書館を安心して利用できるよう図書消毒機を設置。

(3) その他

民間事業者等が図書館に所蔵する雑誌を寄贈し、広告を掲載する「雑誌スポンサー制度」を導入し、制度の普及と雑誌架の充実を図る。

身体等に障害があり、図書館の利用が困難な方のための図書館サービスの提供について利便性向上に努める。

7 社会体育

(1) スポーツ振興基本計画

スポーツ振興条例に基づき策定したスポーツ振興基本計画を令和７年度に中間見直しを行い、今後も引き続き施策の推進を図っていく。

町民アンケート等によりニーズや実態を把握するとともに、小山町スポーツ振興審議会において進捗管理を行う。

(2) 小山町スポーツ振興審議会

スポーツ基本法第10条及び小山町スポーツ振興条例第14条の規定に基づき、計画の策定、基本計画の進捗や推進等、スポーツの振興に関することを調査審議する小山町スポーツ振興審議会を令和３年６月に設置。

委員　　任期：　令和9年3月31日

職　　名	氏　　名	職　　名	氏　　名
会　　長	室伏　武	委員	天野　敬久
副 会 長	室伏　博行	〃	齋藤　広人
委員	湯山　伸彦	〃	岩田　進
〃	齊藤　浩二	〃	勝又　行雄
〃	岩田　大輔	〃	濱本　幸彦
〃	関野　幸一	〃	折井　智
〃	室伏　智生	〃	岩田　幸生
〃	五十井　真琴	〃	小野　正彦

(3) 体育施設等の有効活用

令和８年度から「小山町ライフデザインパートナーズ」が指定管理者として体育施設を管理運営している。また、町スポーツ協会との連携により、各種教室や大会等を開催し、社会体育の充実を図る。

(4) 体育関係団体との連携

スポーツ推進委員を中心に、スポーツ推進の日として、誰もが気軽に実施できるスポーツの「モルック」など、各種レクリエーションスポーツの普及を計画に基づき、振興を図る。

スポーツ協会や地区体育・スポーツ振興会との連携により、地域に根ざしたスポーツ活動を展開し、生涯スポーツの振興を図る。

(5) スポーツ推進委員の派遣

各種団体の要請により、スポーツ推進委員を派遣し、生涯スポーツの振興を図る。

(6) スポーツ推進委員

任期： 令和10年3月31日

職　　名	氏　　名	職　　名	氏　　名
委員長	岩田　大輔	委　員	石原　和寛
副 委 員 長	勝亦　　淳	〃	荒井　美幸
女 性 代 表	岩田　真左子	〃	相原　正和
委　員	北田　記章	〃	大久保　卓也
〃	冨川　博文	〃	大久保　都
〃	山﨑　剛史	〃	妹尾　晴華
〃	望月　一馬	〃	江本　豊
〃	芹澤　陸		

(7) 体育施設の開放

・ 学校体育施設開放　：　年間(有料)
　　開放している各体育館は、リモートロックシステムで管理。
・ 町民プール開放　：　７～８月に明倫小学校のプールを開放
・ スポーツ推進の日　：　月に１回程度実施

(8) 各種大会の開催･支援

・ 町長杯・議長杯パークゴルフ大会
・ 小山町スポーツ祭（地区からの出場に拘らず実施）・町民体育大会・スポーツ少年団交流大会
・ 富士マラソンフェスタ（町内駅伝大会及び周回コース駅伝大会を同時開催）
・ 静岡県市町対抗駅伝競走大会

(9) 各種教室、講習会の開催

・スポーツ推進委員：スポーツ推進の日（なわとびひろば、モルック大会 等）
　　ふれスポ（ふれあいスポーツ）祭（運動と健康を併せたイベント）

(10) 町内体育施設の整備

・町内体育施設の利便性向上と老朽化対策を目的とした整備を検討

(11) スポーツ大会出場奨励金交付事業

・各種スポーツ大会に出場する個人及び団体に対し、奨励金を交付

(12) スポーツ特別賞顕彰事業

・スポーツ大会において特に優秀な成績を収め、スポーツ振興に寄与した個人又は団体を顕彰

(13) スポーツ指導者資格取得支援助成事業

・スポーツ指導者の資格を取得又は更新した者に対し、費用の一部を助成

(14) その他

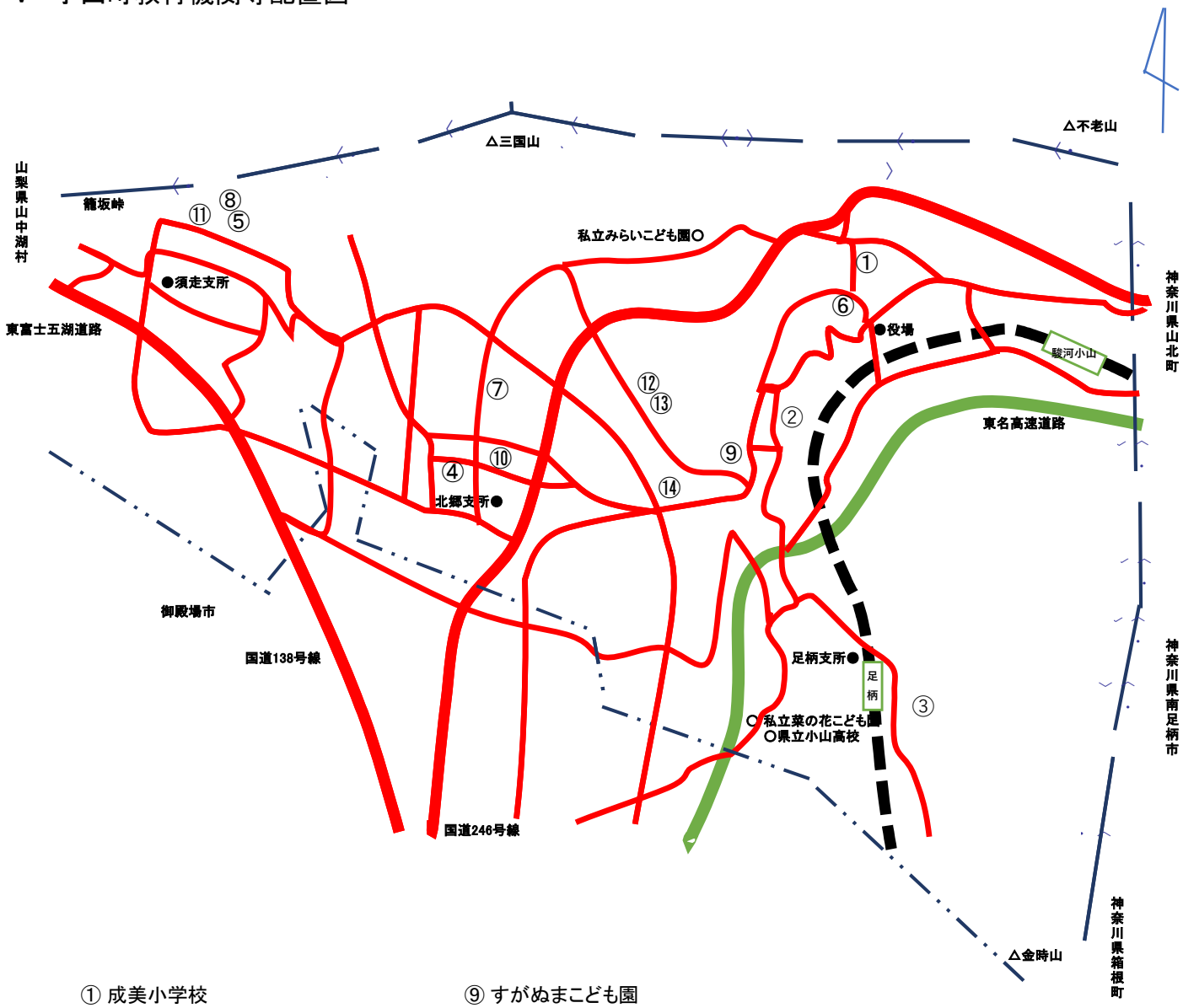
・駿東地区レクリエーションスポーツフェスティバルinおやま
・しずおかスポーツフェスティバル
・ニュースポーツふれあいフェスタin小山　　・各種団体への助成

(15) 小山町体育施設一覧

小山町総合体育館	所在地	小山町阿多野125		
	敷地面積	27,214.24 ㎡ （総合文化会館を含む）		
	建物面積	2,587.44 ㎡ 1階 976.27 ㎡ 2階 アリーナ　34m×54m（H30改修） 観覧席　288席		
	延床面積	3,563.71 ㎡		
	開設	平成8年4月		
	電話番号	76-5708		
小山町多目的広場	所在地	小山町吉久保40-1		
	敷地面積	17,514.00 ㎡		
	用途	400mトラック・サッカー ソフトボール・ゲートボール ジョギングコース		
	規模	屋外便所　70.0 ㎡ シェルター　48.0 ㎡		
	開設	平成6年6月		
小山球場	所在地	小山町阿多野35		
	敷地面積	16,680 ㎡		
	建物面積	535.84 ㎡ （管理棟）　497.6 ㎡ （ダグアウト）　19.12 ㎡ ×2 観客席　780 席		
	グラウンド	両翼　94 m 中堅　121.9 m バックストップ　18.6 m		
	開設	平成6年6月（R2.3改修工事完了）		
小山道場	所在地	小山町吉久保5-1		
	敷地面積	427.67 ㎡		
	建物面積	157.41 ㎡		
	延床面積	167.13 ㎡		
	開設	平成9年3月		
小山町弓道場	所在地	小山町阿多野136-8		
	敷地面積	1,285㎡		
	建物面積	165.02㎡	（射場）	125.87㎡
			（的場）	39.15㎡
	開設	平成6年4月		

足柄地区町民プール （足柄小学校プール）	所在地	小山町竹之下2327
	本プール	25m×12m
	小プール	20m×7m
	開設	昭和47年
北郷地区町民プール （北郷小学校プール）	所在地	小山町用沢604-1
	本プール	25m×12m
	小プール	10m×10m
	開設	昭和48年
菅沼地区児童屋内体育施設 （明倫小に併設）	所在地	小山町菅沼630-6
	建物面積	1,122.66㎡
	開設	昭和53年3月
用沢地区児童屋内体育施設 （北郷小に併設）	所在地	小山町用沢604-7
	建物面積	1,126.26㎡
	開設	昭和56年3月
小山地区夜間照明施設 （小山中学校内）	所在地	小山町藤曲144-10
	照明灯	8基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成10年4月
北郷地区夜間照明施設 （北郷中学校内）	所在地	小山町用沢351-2
	照明灯	6基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	昭和57年4月
須走地区夜間照明施設 （須走小学校内）	所在地	小山町須走70-18
	照明灯	8基
	用途	軟式野球、ソフトボール、サッカー
	開設	平成13年4月
小山町パークゴルフ場	所在地	小山町吉久保221
	コース有効面積	7,213㎡
	コース全長	720m
	A(ふじ桜)コース	9ホール　パー33
	B(菜の花)コース	9ホール　パー33
	開設	平成15年4月
	電話番号	080-8250-7651
パークゴルフ場クラブハウス （小山町パークゴルフ場内）	建築面積	104.79㎡
	床面積	82.26㎡
	開設	平成30年4月

Ⅴ　小山町教育機関等配置図



① 成美小学校
② 明倫小学校
　菅沼地区児童屋内体育施設
③ 足柄小学校
④ 北郷小学校
　用沢地区児童屋内体育施設
⑤ 須走小学校
　須走小学校放課後子ども教室
　夜間照明施設
⑥ 小山中学校
　夜間照明施設
⑦ 北郷中学校
　夜間照明施設
⑧ 須走中学校
⑨ すがぬまこども園
⑩ きたごうこども園
⑪ すばしりこども園
⑫ 総合文化会館
　図書館
　総合体育館
　多目的広場
　小山球場
　弓道場
　小山道場
⑬ 子育て支援センター「きんたろうひろば」
⑭ パークゴルフ場

【発　行】
〒410-1395
静岡県駿東郡小山町藤曲57番地の2
小山町教育委員会　学校教育課

電話：　0550-76-6122
ＦＡＸ：0550-76-2795
MAIL：　gakkou@fuji-oyama.jp